

木更津市
道路舗装維持修繕計画
【改訂版】

令和7年度

千葉県木更津市

目 次

1	背景と目的	1
2	道路の現状	2
2-1)	管理延長	2
2-2)	維持管理費用	3
3	維持管理の現状と課題	4
3-1)	調査範囲の設定	4
3-2)	MCI	5
3-3)	課題	8
4	課題解決に向けた維持管理の基本方針	9
4-1)	基本方針	9
4-2)	木更津市の舗装維持管理基準値の策定	10
5	道路舗装維持修繕の実施計画	16
5-1)	実施方針	16
5-2)	前回実績も踏まえた修繕区間の選定	27

1 背景と目的

背 景

木更津市が市道に認定し管理する道路延長（独立自歩道を除く）は令和 6 年 3 月末現在で、1,2 級道路は約 187km、その他道路は約 729km、合わせて約 916km となっている。

本市では、新市街地の計画的な整備と土地利用の増進を目的とする土地区画整理事業が昭和 38 年から各地で行われ、高度経済成長期に多くの道路インフラが整備されてきた。今後も、市事業による道路の整備や千葉県による金田西特定土地区画整理事業、民間事業者による宅地開発事業等により道路インフラが整備され、市が管理する道路延長は増える傾向にある。

高度経済成長期に整備された道路インフラは、今後急速的に老朽化が進み維持管理費が増大することが懸念される。このため、予算を平準化し、効率的な修繕事業を進めるためのマネジメントシステムの取り組みが求められている。

目 的

効率的な修繕事業を進めるためのマネジメントシステムの取り組みとして、平成 26 年度に 1,2 級市道（幹線）の路面性状調査を行い、平成 27 年度に木更津市道路舗装維持修繕計画を策定した。平成 28 年度より、従来の損傷した箇所の補修を行う「事後保全型」に加え、損傷が大きくなる前に補修を行う「予防保全型」についても取り組んでいるところである。

前回の路面性状調査から 5 年が経過することから、現在の状況の把握、これまでの維持補修の取り組み、舗装の劣化予測、修繕計画シミュレーションなどを踏まえ、計画的な維持修繕を実施することを目的として、木更津市道路舗装維持修繕計画を更新する。

2 道路の現状

2-1) 管理延長

本市の道路は、令和 6 年 3 月 31 日現在で約 916 km(舗装道以外も含む)あり、表 2-1、図 2-1 にも示されているように、管理延長は微増ながら増え続ける傾向にある。

表 2-1 年度別 管理道路延長

(単位：メートル)

(各年度末現在)

年 度	市道実延長	舗 装 道				舗装率 (%)	橋 梁	
		総 数	セメント系	高級舗装	簡易舗装		橋 数	延 長
H24	885,471	865,508	-	198,030	667,478	97.7	250	2,928
H25	887,972	868,466	4,525	193,280	670,661	97.8	253	2,999
H26	898,708	878,413	4,516	190,960	682,937	97.7	248	2,912
H27	900,321	880,311	4,570	190,961	684,780	97.8	249	2,920
H28	899,961	880,026	4,646	191,617	683,763	97.8	248	2,913
H29	905,890	886,419	4,610	191,614	690,194	97.9	247	2,905
H30	910,013	890,655	4,606	191,842	694,207	97.9	251	2,924
R 1	911,229	892,108	4,606	191,742	695,760	97.9	252	2,924
R 2	912,307	893,398	4,606	192,289	696,503	97.9	251	2,931
R 3	913,042	894,133	4,602	192,649	696,882	97.9	251	2,931
R 4	914,741	895,832	4,602	192,786	698,444	97.9	241	2,867
R 5	916,322	897,449	4,602	192,966	699,881	97.9	241	2,867

資料：木更津市道路施設現況調査集計表より（都市整備部土木管理課）

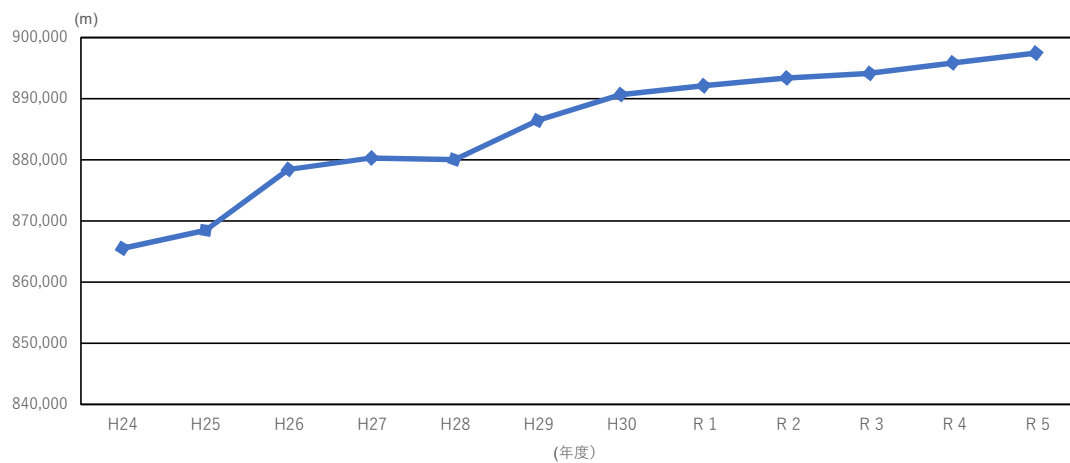


図 2-1 舗装道路延長の推移

2-2) 道路の現状についての考察

平成 25 年から 6 年間の舗装改修事業費は 3,000 万円前後で増減を繰り返していたが、その後令和 2 年度より増加傾向にある。

令和 2 年度の道路維持修繕計画の改訂では、路面性状調査※1により市が管理する道路舗装性能の把握を 2 年分(平成 26 年と令和元年)行ったことで、平均 MCI の微増を確認した。

このことから、予防保全的対策を加えたことで劣化ペースを抑え、管理道路の健全度を維持(または微増)していることが示唆された。

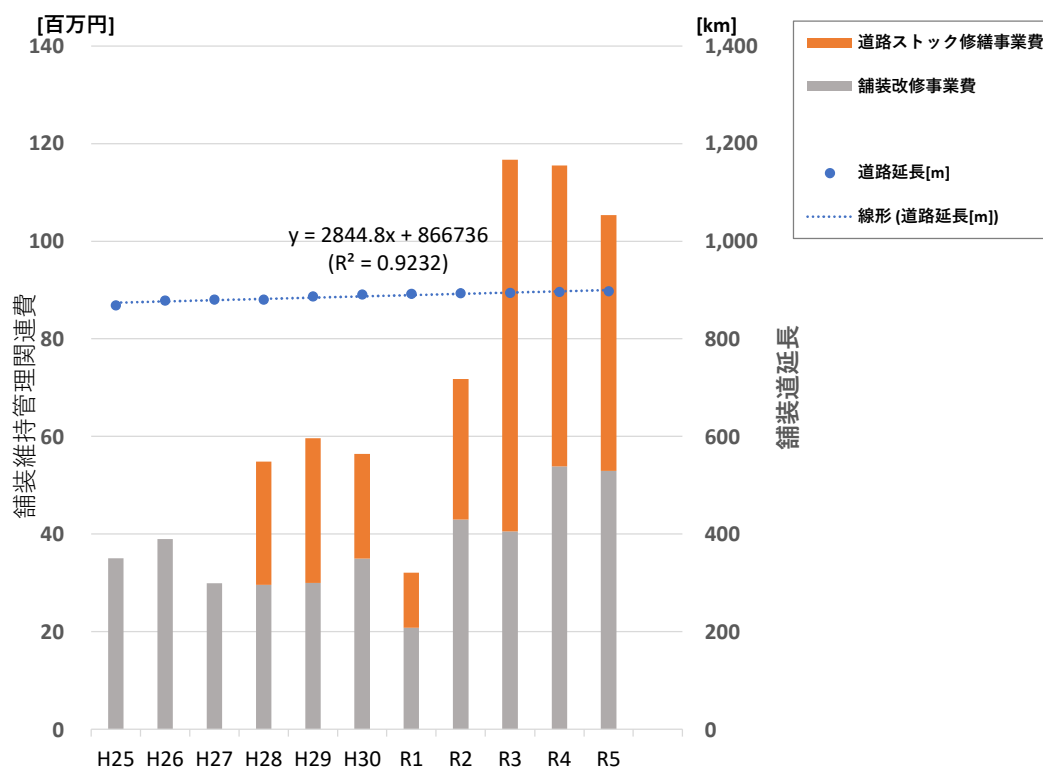


図 2-2 道路ストックの増加と事業費の推移

上図のように、近年においても舗装道延長（管理延長）は一定の割合で増加しており、このような状況の中でも健全度を一定数保ちながら、事業費の安定化を図る必要がある。現在の事業費レベルを継続することで、当面の目標である「健全度底上げ」が実現できているかを確認する必要があるため、路面性状調査を行い、状況を把握する。

※1. 舗装のひびわれ、わだち掘れ、平坦性を測定し、そのデータを解析することで対象路線の健全度を診断、道路舗装修繕の基礎資料を得るための調査。

3 維持管理の現状と課題

本章で路面性状調査の調査範囲の設定、MCI による道路の現状把握、課題の整理を行う。

3-1) 調査範囲の設定

本市が管理している道路は、車両の供用がされている延長については約 916km である。

表 3-1 木更津市道路延長集計表

道路種別	路線数	総延長 m	重用延長 m	未供用延長 m	実延長 m	規格改良		
						車道	車道	計
						5.5m以上	5.5m未満	
1級	66.0	101952.9	893.2	8552.4	92507.3	59264.2	27257.2	86521.4
2級	96.0	96582.8	1537.6	742.2	94303.0	49497.8	30305.1	79802.9
幹線計	162.0	198535.7	2430.8	9294.6	186810.3	108762.0	57562.3	166324.3
その他	3249.0	739655.3	6301.1	3843.0	729511.2	107071.3	459806.3	566877.6
総括	3411.0	938191.0	8731.9	13137.6	916321.5	215833.3	517368.6	733201.9
独立自歩道	162.0	6556.6	0.0	0.0	6556.6			5813.0
合計	3573.0	944747.6	8731.9	13137.6	922878.1	215833.3	517368.6	739014.9

*未改良区間 約 184km

表 3-2 路面別実延長内訳表

道路種別	実延長	路面別実延長内訳				
		未舗装道	舗装道			舗装集計
			セメント系	アスファルト系		
	m	m			高級	簡易
1級	92,507.3	693.0	208.5	61,725.9	29,879.9	91,814.3
2級	94,303.0	1,624.0	59.4	48,351.1	44,268.5	92,679.0
幹線計	186,810.3	2,317.0	267.9	110,077.0	74,148.4	184,493.3
その他	729,511.2	16,555.0	4,333.9	82,889.4	625,732.9	712,956.2
総括	916,321.5	18,872.0	4,601.8	192,966.4	699,881.3	897,449.5

実延長に対する、路面別舗装道の内訳を表 3-2 に示す。表より、本市における舗装道の延長は、約 897km で舗装率は 97.9%であった。

本年度、上記の 1 級 2 級の幹線道路の舗装道を対象とした路面性状調査を実施した。

(舗装道計 1 級 59.0km、2 級 33.3km 計 92.3km)

3-2) MCI

MCI (Maintenance Control Index) とは国土交通省が作成した維持管理指数であり、路面のひび割れ、わだち掘れ、平坦性の 3 つの路面性状データを組み合わせた総合指標である。自治体の多くはこの指標を舗装の健全度として用い、補修を行う際の判断基準としている。

測定区間は 100m で、MCI が低い値を示している場合、ひび割れやわだち掘れが多いか、平坦性が欠けているといえる。

MCI : MCI (平坦性が未測定の場合は MCI_0), MCI_1 , MCI_2 のうちの最小値

$$MCI = 10 - 1.48C^{0.3} - 0.29D^{0.7} - 0.47\sigma^{0.2}$$

$$MCI_0 = 10 - 1.51C^{0.3} - 0.30D^{0.7}$$

$$MCI_1 = 10 - 2.23C^{0.3}$$

$$MCI_2 = 10 - 0.54D^{0.7}$$

C : ひび割れ率(%)

D : わだち掘れ深さ(mm)

σ : 平坦性(mm)

表 3-3 MCI における評価区分

MCI 値	損傷の度合い
■ 5.1 以上	望ましい管理水準の区間
■ 5.0 以下	修繕が望ましい区間
■ 4.0 以下	修繕が必要な区間
■ 3.0 以下	早急な修繕が必要な区間

※国土交通省では維持管理の修繕の判断基準として「MCI=4.0 以下」を推奨している。

※供用開始直後に 8~9 の値をとり、以後交通荷重などの影響を受けて時間とともに低下し、およそ 10 年程度で 4~5 以下となる。

路面性状測定結果を以下に示す。

測定した幹線道路は 67 路線あるため、代表として市道 101-2 号線の一部データを抜粋し、下表に示す。また、測定路線の MCI 値を平面図に記載したものを図 3-1 に示す。

表 3-4 路面性状データ一覧表（市道 101-2 号線）

区間			区間 距離	点検 年月	ひび割れ (%)	わだち 掘れ (mm)	平坦性 σ (mm)	MCI 値	MCI 式
起点	～	終点							
0		100	100	2025/03	11.7	5.6	4.49	5.3	1
100		200	100	2025/03	10.6	3.8	5.40	5.5	3
200		300	100	2025/03	17.0	10.1	3.38	4.5	1
300		400	100	2025/03	12.1	8.9	2.49	5.0	1
400		500	100	2025/03	13.3	12.6	4.43	4.4	1
500		600	100	2025/03	5.3	6.1	2.29	6.0	1
600		700	100	2025/03	1.0	4.2	1.91	7.2	1
700		800	100	2025/03	0.3	2.4	1.84	7.9	1
800		900	100	2025/03	1.0	2.9	2.90	7.3	1
900		1000	100	2025/03	6.1	5.9	3.10	5.9	1
1000		1100	100	2025/03	0.2	5.4	2.02	7.5	1
1100		1200	100	2025/03	1.1	5.6	2.25	6.9	1
1200		1300	100	2025/03	1.7	4.2	2.35	6.9	1
1300		1400	100	2025/03	6.1	6.2	2.94	5.8	1
1400		1500	100	2025/03	14.5	8.1	3.34	4.9	1
1500		1600	100	2025/03	15.9	4.1	2.38	4.9	3
1600		1700	100	2025/03	3.8	7.0	2.62	6.1	1
1700		1800	100	2025/03	18.6	8.9	5.72	4.4	1
1800		1900	100	2025/03	10.5	7.6	3.51	5.2	1
1900		2000	100	2025/03	4.6	9.2	3.82	5.7	1
2000		2100	100	2025/03	5.0	7.9	3.36	5.8	1
2100		2200	100	2025/03	0.4	7.2	2.39	7.1	1
2200		2300	100	2025/03	1.9	9.4	2.67	6.2	1
2300		2400	100	2025/03	2.3	6.1	2.96	6.5	1
2400		2500	100	2025/03	2.8	8.2	4.16	6.1	1
2500		2600	100	2025/03	1.7	10.2	4.11	6.2	1

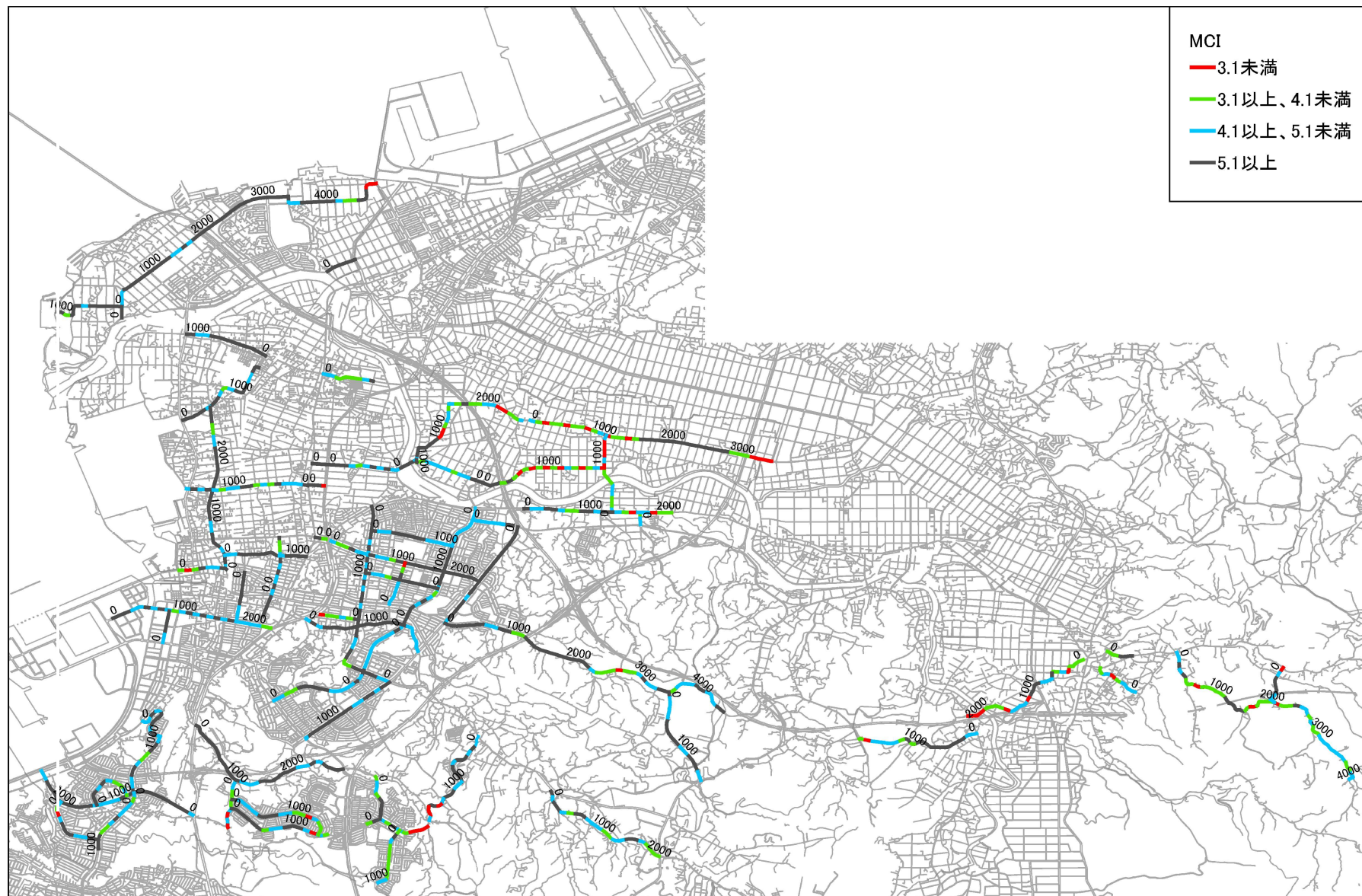
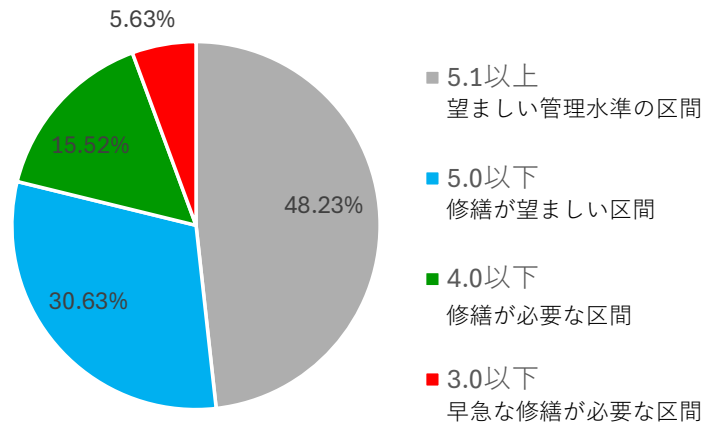


図 3-1 路面性状調査測定路線の MCI 値

また、幹線道路の現状 MCI の集計結果を図 3-2 に示す。



※総延長：92.3km 100m区間データ数：960

図 3-2 R6 MCI 値評価区分の割合

表および図より MCI 値 4.0 以下の「修繕が必要な区間」（「早急な修繕が必要な区間」を含む）は、現在約 20km あり、全区間中約 21%を占めている。

前回業務の MCI 集計結果と比較すると図 3-3 のようになる。

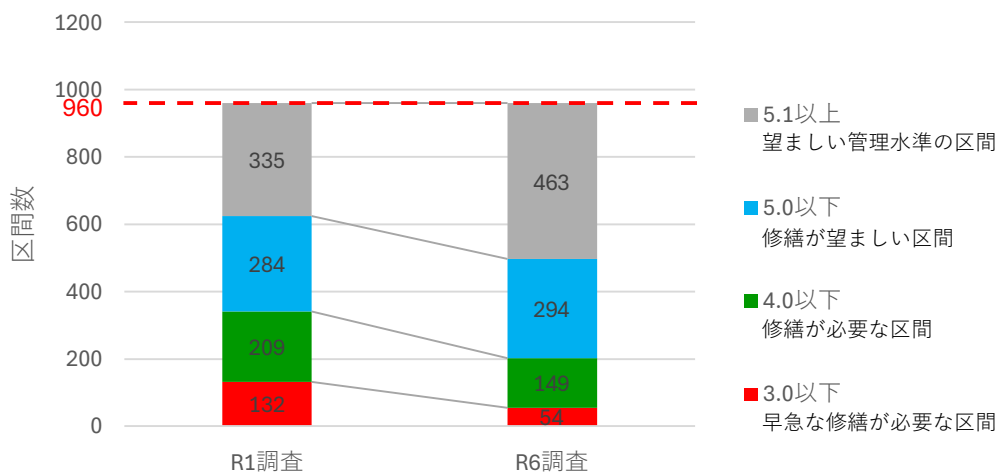


図 3-3 MCI の 5 年推移

上図は左側縦軸を 100m 区間数、横軸に令和元年度及び令和 6 年度の MCI 集計結果を並べたものである。今回計画では令和元年度の調査と同様の路線 67 路線（960 区間）を対象として調査分析を行った。

修繕が必要な区間（MCI4.0 以下）は令和 6 年度で合計 203 区間となっており、令和元年度の 341 区間と比較して 138 区間（約 14km）と減少している。

その要因としては、今回調査の対象路線のうち、113 号、114 号、120 号、125 号、137-1 号、137-2 号、141 号、145 号、151 号、206 号、215 号、219 号、232 号、260 号、275-2 号が修繕済（工事済）となったことが挙げられる。

3-3) 課題

令和元年度から修繕及び改修工事に取り組んできたが、修繕が必要な区間（MCI 値 4.0 以下）を多く抱えた状態には変わらず、今後も道路の維持管理に注力していく必要がある。

また、限られた予算の中で適切な維持管理を行っていくためには、さらに工事対象路線を選別し、計画的に事業を実施していく必要がある。

4 課題解決に向けた維持管理の基本方針

4-1) 基本方針

過年度の計画策定にあたり、本市の実情に即した道路舗装の維持管理基準として、「沿道居住環境」と「道路利用者」の尺度を考慮して KPSI という市独自の指標を作成している。

本計画においても過去計画を踏襲し、下記尺度を主眼とした維持管理指標を用い、道路状況の再評価を行い、維持管理の優先度を決定していく。

① 道路管理者の目

点 検：定期的な路面性状調査を継続、日々のパトロール
評 価：判断基準値を設定
劣化予測：予測式の作成
技術開発：民間の情報の活用

② 沿道住民の目

要望・苦情等に耳を傾ける
沿道居住環境（騒音・振動の改善）
歩行安全性：バリアフリー等

③ 道路利用者の目

走行安全性：事故が起きない

4-2) 木更津市の舗装維持管理基準値の策定

(1) 評価項目 (案)

千葉県県土整備局、「舗装の取り組み」(平成 26 年度)を参考とすると、

千葉県県土整備局の舗装維持管理基準指標

CPSI (Chiba Pavement Serviceability Index)

$$CPSI = 100 - Mc - Be - Su - Lo - Mo$$

Mc : 損傷区分による点数 : MCI を基準とした道路の損傷程度を考慮した区分。

Be : 道路区分による点数 : 交通量を基本とする舗装設計の区分

Su : 大型車区分による点数 : 大型車交通量の影響を交通区分と対比した区分

Lo : 沿道区分による点数 : 道路の立地による居住環境、歩行安全性の反映区分

Mo : モニター意見による点数 : 住民の要望、苦情等諸問題の第三者評価の区分

CPSI 40 以下で修繕対象とする。

本市では上記を参考として、県基準の大型車区分を無くし、道路区分点に含めた KPSI (Kisarazu Pavement Serviceability Index) を策定する。

$$KPSI = 100 - Mc - Be - Lo - Mo$$

Mc : 損傷区分による点数 : MCI を基準とした道路の損傷程度を考慮した区分。

Be : 道路区分による点数 : 交通量を基本とする舗装設計の区分

Lo : 沿道区分による点数 : 道路の立地による居住環境、歩行安全性の反映区分

Mo : モニター意見による点数 : 住民の要望、苦情等諸問題の第三者評価の区分

KPSI 40 以下で修繕対象とする。

(2) 評価項目の具体的な分類（案）

基本的には前回業務と同様の評価項目とする。

表 4-1 評価項目と分類および点数表

項目	Mc 損傷区分点		Be 道路区分点		Lo 沿道区分点		Mo 道路モニタ区分点	
配点								
指標	MCIによる損傷分類		交通量区分による舗装分類		道路立地による安全、環境分類		モニタによる道路評価区分	
水準1	6.0以上	0	L交通	0	市街化調整区域	0	なし	0
水準2	4.1～6.0	30	A交通	6	市街化区域	5	あり	8
水準3	3.6～4.0	40	B交通	12	DID	8	多数	10
水準4	3.1～3.5	45	C交通	16	通学路	10		
水準5	2.6～3.0	50	D交通	20	高速バス路線・大型車輸送路線	10		
水準6	2.1～2.5	55						
水準7	2.0以下	60						

※ 例：MCI=4.5、B 交通、DID、苦情・陳情 多数の箇所（区間）

各項目の配点、および KPSI は以下の通りとなる。

Mc=30、Be=12、Lo=8、Mo=10

$KPSI = 100 - 30 - 12 - 8 - 10 = 40$

例：MCI=5.0、C 交通、DID、苦情・陳情 あり の箇所（区間）

各項目の配点、および KPSI は以下の通りとなる。

Mc=30、Be=16、Lo=8、Mo=8

$KPSI = 100 - 30 - 16 - 8 - 8 = 38$

例：MCI=3.7、A 交通、市街化区域、苦情・陳情 あり の箇所（区間）

各項目の配点、および KPSI は以下の通りとなる。

Mc=40、Be=6、Lo=5、Mo=8

$KPSI = 100 - 40 - 6 - 5 - 8 = 41$

(3) KPSI による現況の再評価

本市独自の維持管理指標 KPSI による現況の再評価を行う。

KPSI は、100 を最大値とし、各評価項目による減点方式となっているため、値が低いほど維持修繕優先度が高いという判定になる。

KPSI の評価に際しては、「木更津市道路舗装維持修繕計画 H28」で用いられた下表の区分を採用する。

表 4-2 H28 時の KPSI 区分

区分	対策・処置	KPSI 値
■ I ランク	経過観察等	41 以上
■ II ランク	補修が必要	31～40
■ III ランク	早急な補修が必要	30 以下

上記区分で MCI と同様に、測定路線の KPSI 値を平面図に記載したものを次頁に記す。

また、幹線道路の KPSI の集計結果を図 4-2 に示す。

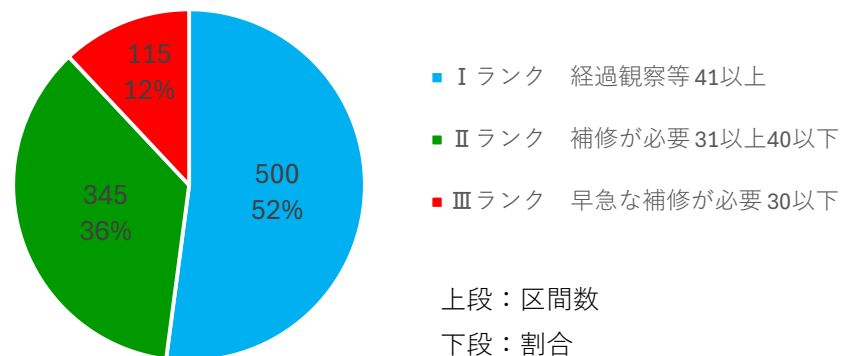


図 4-2 R6 KPSI 評価区分の割合

上記結果より、「早急な補修が必要な区間（KPSI30 以下）」の区間と、ランク（優先度）が一つ落ちる「補修が必要な区間（KPSI31～40）」の区間を合計すると 460 区間となり、要補修区間は約 46km に及ぶ。

MCI値における補修対象（MCI値 4.0以下）区間は 203区間の約 20km であり、KPSI での評価と比較すると約 26km 補修対象区間が増えることとなる。

この理由としては、KPSI が道路の損傷指標だけでなく、沿道区分や第三者による評価を加味した指標であることが挙げられる。

市の実情に合わせた評価となった一方で、要補修箇所は多くなることから、補修対象数を調整する必要がある。

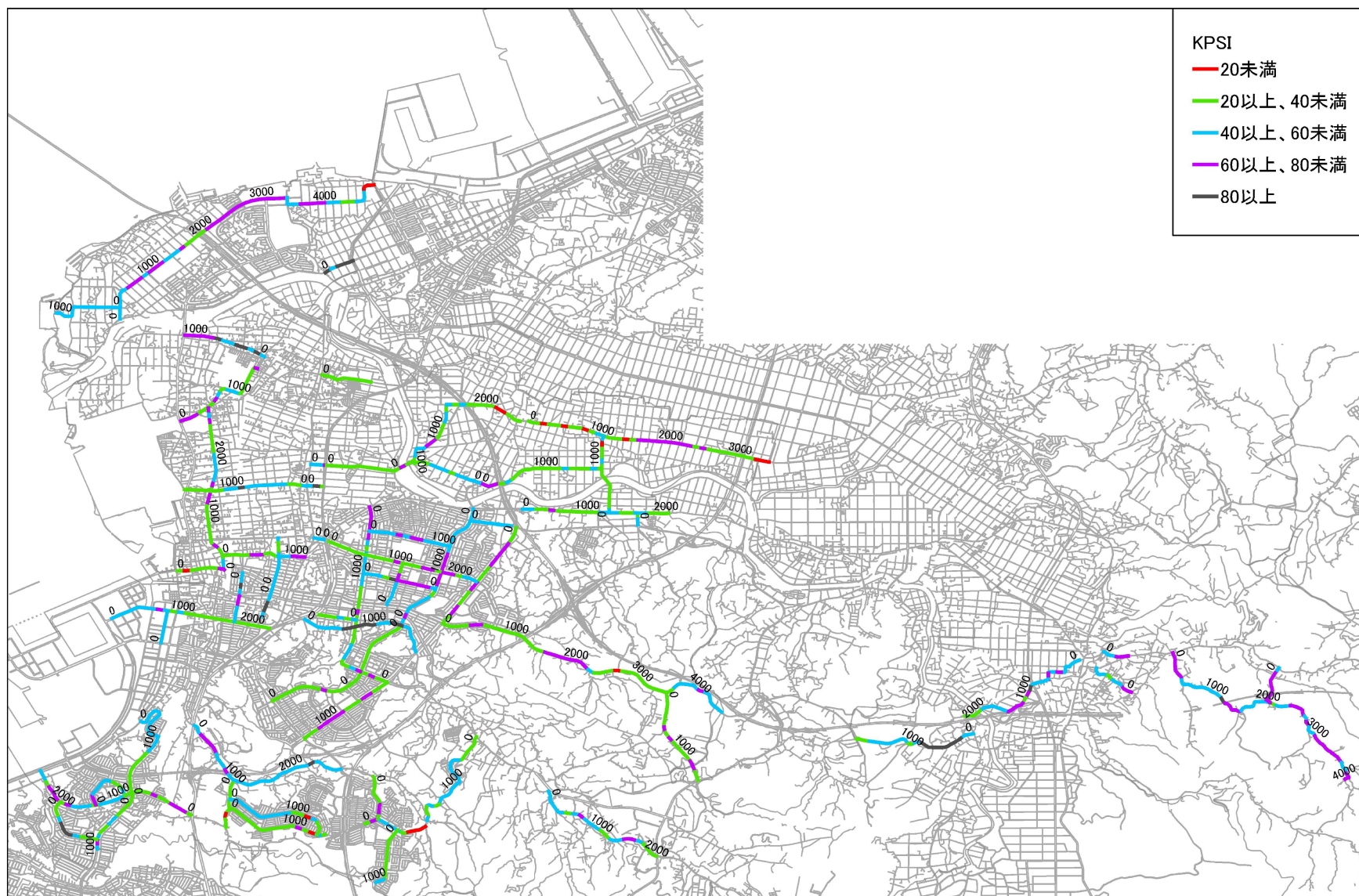


図 4-1 測定路線の KPSI 値

(4) KPSI 区分の調整

前述の表 4-2 の区分について市の実情に合わせて調整を行う。

区分の調整にあたり、市が直近 5 年間に道路ストック修繕舗装工事に計上した事業費および補修工事延の実績を基にする。

道路ストック舗装修繕事業費については、5 年間の合計で約 2 億 3 千万円、工事延長 については 4km という実績になっている。

道路維持管理費用については、直近 5 年間で舗装改修事業費と合わせて約 4 億 4 千万円となるが、道路ストック舗装修繕事業は国の補助金を割り当てており、年度事業費の変動がある。このため、事業費としては道路ストック舗装修繕事業費のみの金額を用いる。

① 直近 5 年間の道路ストック舗装修繕事業費および工事延長の実績を目安として、次の 5 年間で行える補修工事延長を 約 4km とする。

② R1～R5 年の 5 年分の道路ストック舗装修繕事業費に着目し、概算値として、道路補修延長 1m あたりにかかる平均事業費を算出する。

$$2.3 \text{ [億円]} \div 4 \text{ [km]} = 57,500 \text{ [円/m]}$$

<区分の再設定>

5 年間で行える補修延長 約 4km を参考に、KPSI の区分を再設定すると以下のようになる。

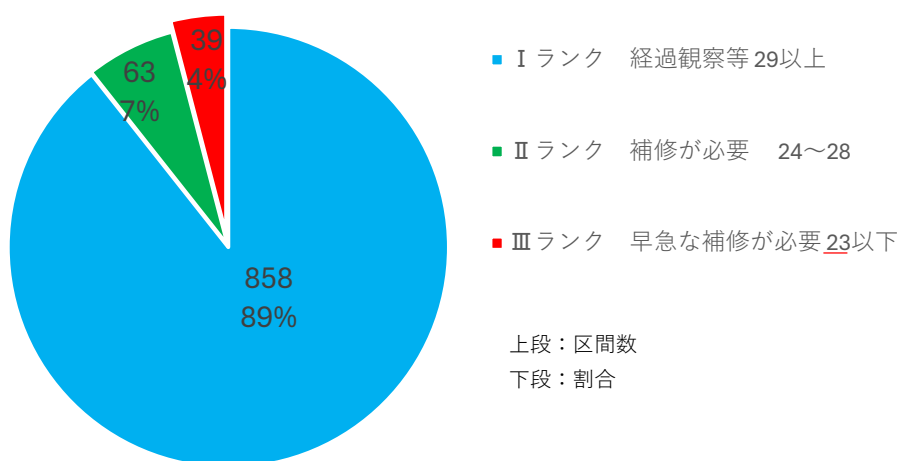


図 4-3 修正後の R6 KPSI 評価区分の割合

＜区分の再設定＞

5年間で行える補修延長 約4km を参考に、KPSI の区分を再設定すると以下のようになる。

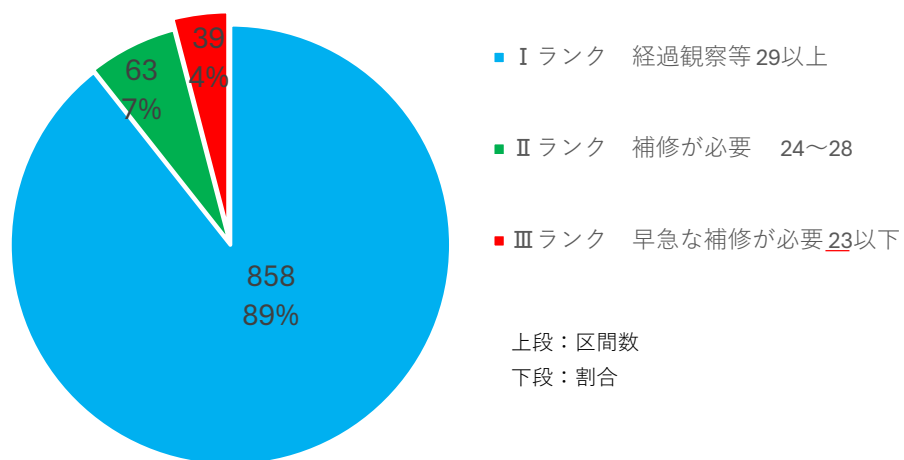


図 4-3 修正後の R6 KPSI 評価区分の割合

5 道路舗装維持修繕の実施計画

5-1) 実施方針

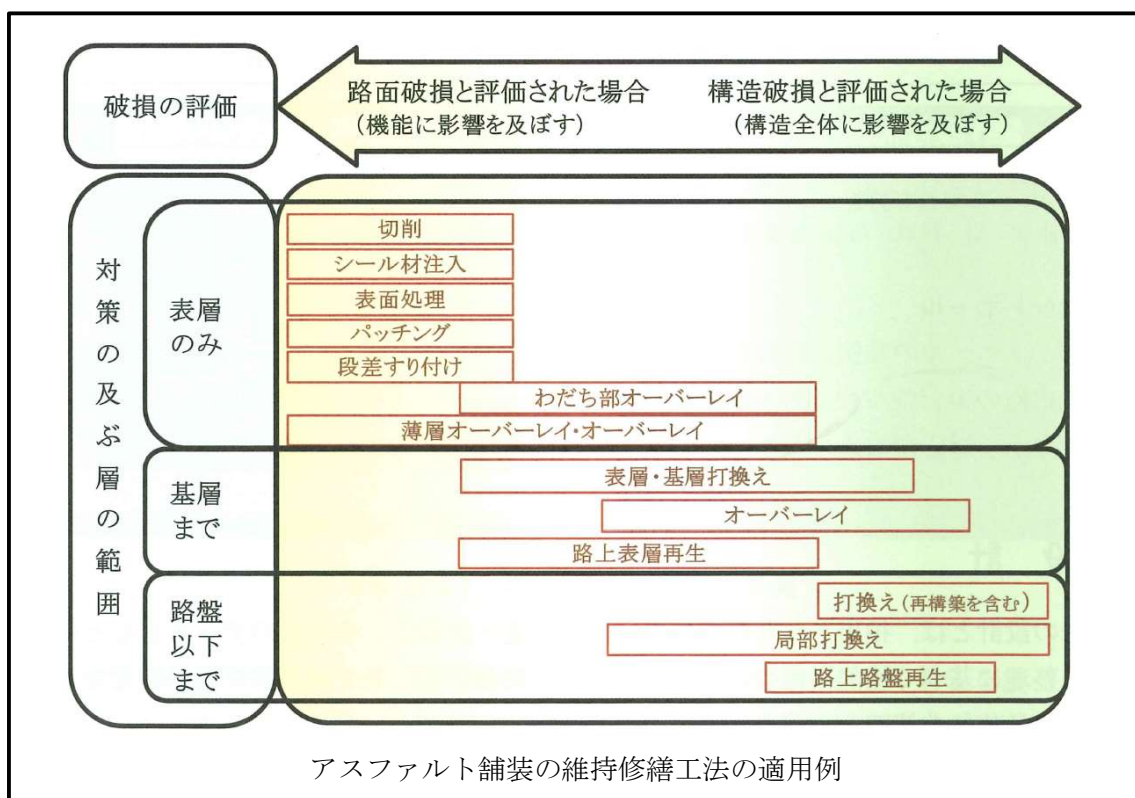
木更津市は前回の令和元年度路面性状調査結果を基に、修繕すべき箇所を選定し補修を行う、「選択と集中」に取り組んできた。市が管理する道路舗装は、一定の水準を維持できているものと考えられる。今後も同様に修繕する方針で進めれば、本市の指標で言うところの「補修が必要な区間（KPSI40 以下）」は減少、もしくは横ばいになると考えられる。

KPSI の調整より早急に補修が必要となる区間が 約4km あるので、そこから優先的に選定していけば良いと考える。

(1) 維持修繕工法の種類と破損の程度に応じた工法の選定

今回実施した路面性状調査は、舗装の表面の状態（路面のひび割れ、わだち掘れ、平坦性）を数値化し、舗装の健全度を評価するものである。

今後は FWD 調査のような構造的調査（舗装の各層の支持力（たわみ量）、路床の支持力調査）も併せて実施し、下図で示されているように、調査結果を踏まえ、破損の分類（路面破損、構造破損）や破損の程度に合わせて適切に行う必要がある。



表：アスファルト舗装の破損と工法選定上の区分に応じた維持修繕工法の選定目安

アスファルト舗装の破損		維持修繕工法 破損の分類	維持工法							修繕工法						
			段差 すり付け 工法	バッチ 塗り工法	シール材 注入工法	切削 工法	表面 処理工法	空隙 つまり 洗浄工法	薄層 オーバー レイ工法	わだち 部 オーバー レイ工法	打換え 工法	局部 打換え 工法	オーバー レイ工法	表層・ 基層 打換え 工法 (切削 オーバー レイ)	路上 路盤 再生 工法	路上 表層 再生 工法
ひび割れ	●線状 ・疲労ひび割れ ・わだち割れ ・施工継目ひび割れ ・リフレクションクラック ・温度応力ひび割れ ・凍上によるひび割れ	路面、構造			L(M)						M,H	L,M	M,H	M,H	M,H	M,H
	●亀甲状 ・路床・路盤の支持力低下・沈下によるひび割れ ・基層の剥離によるひび割れ	路面、構造	L,M								M,H	L,M		M,H	M,H	
	●凍上・凍結融解によるひび割れ	構造			L,M						M,H	L,M			M,H	M
	●アスファルト混合物の劣化・老化によるひび割れ	路面、構造	L				M,H		M,H					M,H		M,H
	●構造物周辺のひび割れ	路面、構造	○	○								◎				
わだち掘れ	路床・路盤の圧縮変形によるわだち掘れ	構造	L				L		L,M		M,H	M,H			M,H	
	アスファルト混合物の塑性変形によるわだち掘れ	路面、構造	L			M	L		L,M				M,H	M,H		M
	アスファルト混合物の摩耗によるわだち掘れ	路面	L				L		L,M	M,H			M,H	M,H		M
平坦性の低下	縦断方向の凹凸	路面、構造	○						○		◎		○	○	◎	○
その他の破損	段差	路面、構造	○		○							◎				
	ポットホール	路面、構造	○									◎				
	剥離	路面、構造									◎	◎		○,◎		
	ポリッシング（すべり抵抗値の低下）	路面					M,H		H				H	H		H
	コルゲーション	路面							○				○	○		
	くぼみ	路面、構造	○									◎				
	寄り	路面、構造	○		○							◎		○,◎		
ポーラス アスファルト 舗装特有の破損	骨材飛散	路面	○				○							○		
	空隙つまり	路面							○					○		
	空隙つぶれ	路面												○		
	部分的な寄り（側方流動）	構造										◎		◎		
備 考	L、M、H：工法選定上の区分 (M)：路面破損の場合にのみ適用 ○：路面破損の場合に適用する工法 ◎：構造破損の場合に適用する工法															

[注] 表中の記号は、維持修繕を行う場合の工法選定上の区分であって、維持修繕の必要性を示すものではない。この表の意味するところは、当該個所の破損を評価したうえで、維持修繕を行うかどうかを含めて判断し、維持修繕を行う場合は破損状況に応じた工法を選定すべきであるという趣旨である。

(2) 今後の修繕方針

KPSI によって算出された要補修区間は 100m 区間の合計値であるため、下図からもわかるように、点在している。

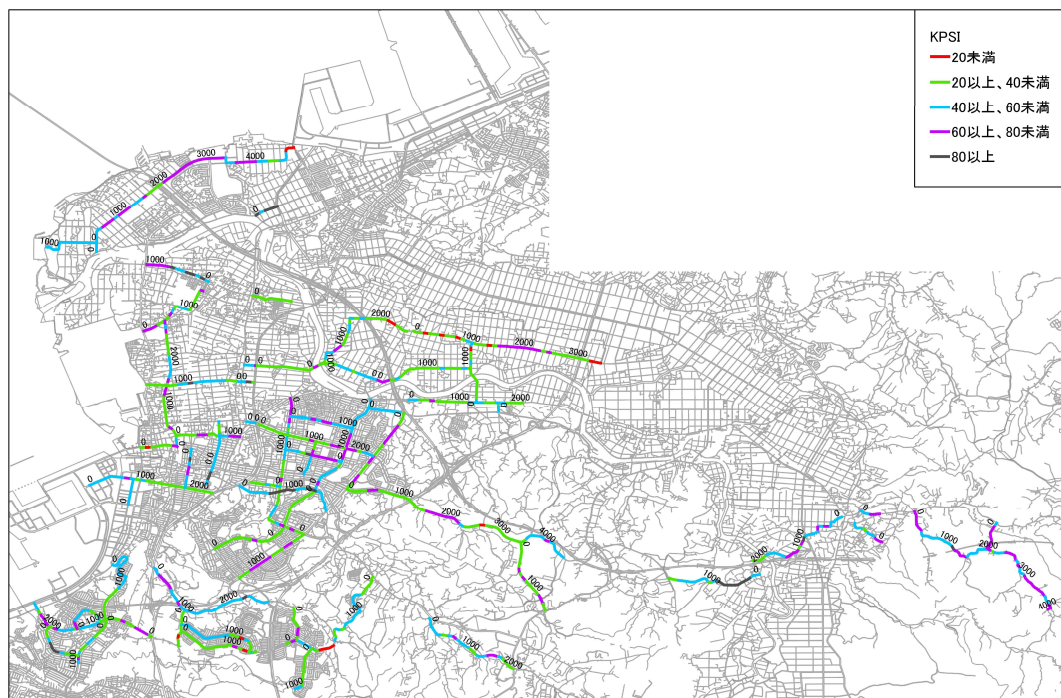


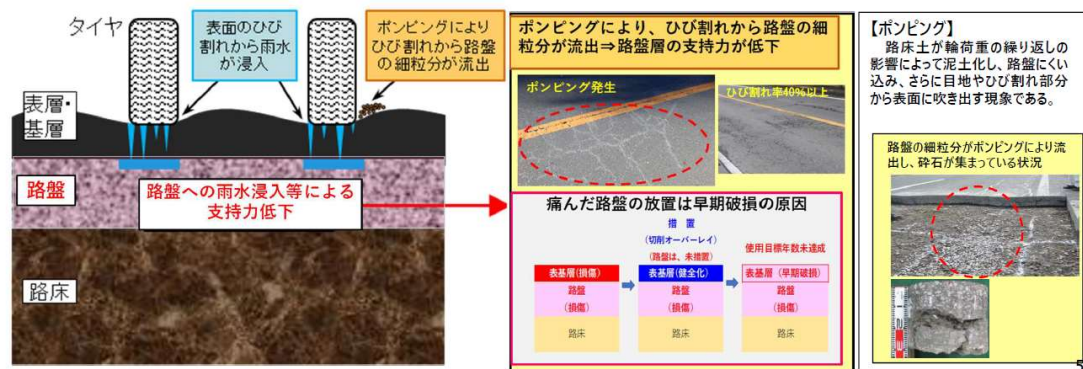
図 6-4 現況 KPSI (R6 年度)

ここから更に着手する箇所の選定を考えると、『ひび割れ率 40%以上』を目安にする方法がある。これは、路盤に雨水が侵入し構造破損を生じさせる経験値として国交省直轄国道の判定基準にも使われている。

舗装は「ひび割れ」が原因で劣化する ～舗装の劣化メカニズム～

- 舗装を長期間もたせるためには、路盤や路床の支持力が確保されていることが重要。
- しかしながら、舗装は、ひび割れ率が40%を超えた状態で放置すると、降雨時に路盤から細粒分が流出し劣化する。
 - 路盤が痛んだ状態では、何度切削オーバーレイしても表層はすぐに劣化する⇒お金の無駄遣い
 - このため、ひび割れが40%に達しているものは、路盤の支持力を確認し、悪い場合には路盤を含め修繕する必要がある
 - また、ひび割れが40%に達しているものの、路盤の支持力がまだ確保されているものについては、切削オーバーレイ等の表層の修繕を行って、雨水の侵入を防止する措置が求められる
- また、近年、xROADのデータを用いた分析で、路盤の下路床の支持力を適切に評価して、舗装設計を行うことの重要性が確認されており、軟弱地盤等の土地の成り立ちや早期劣化の度合いを踏まえて、路床（地盤）の改良から検討する必要がある。

◇路盤が損傷するメカニズム



舗装の定期点検における項目と診断区分

- 舗装の定期点検は、平成29年度から開始。その際、舗装に求められる「長寿命」、「安全・安心」、「乗り心地」の観点から重要な指標である、ひび割れ率、わだち掘れ量、IRIを点検項目として設定。
- 判定区分は、健全（Ⅰ）、表層機能保持段階（Ⅱ）、修繕段階（Ⅲ-1、Ⅲ-2）を設定。
- ひび割れ率、わだち掘れ量、IRIのいずれかの管理基準のうち、最も損傷レベルの大きいものを当該区間の診断区分としている。
例：ひび割れ率がⅢ-1、わだち掘れ量がⅡ、IRIがⅠ ⇒ 当該区間の診断結果はⅢ-1
- 修繕段階のⅢ-1、Ⅲ-2の違いは、路盤・路床の支持力が確保されているかどうかで決まる。その判定については、現状は、使用目標年数に比して表層が早期劣化する箇所を路盤・路床が悪い（Ⅲ-2）とみなす簡易な方法を採用。
- なお、使用目標年数とは、早期の劣化区間を把握し、これを排除することなどにより、全体として舗装を長寿命化することを目的として、各道路管理者が設定するものである。

■ 舗装点検要領での健全性の診断

区分	状態
Ⅰ 健全	損傷レベル小：管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態である
Ⅱ 表層機能保持段階	損傷レベル中：管理基準に照らし、劣化の程度が中程度である
Ⅲ 修繕段階	損傷レベル大：管理基準に照らし、それを超過している又は早期の超過が見られる状態
Ⅲ-1：表層等修繕	表層の供用年数が使用目標年数を超える場合（路盤以下の層が健全であると想定される場合）
Ⅲ-2：路盤打換等	表層の供用年数が使用目標年数未満である場合（路盤以下の層が損傷していると想定される場合）

■ 直轄国道の判定基準

区分	ひび割れ率	わだち掘れ量	IRI
Ⅰ 健全	20%未満程度	20mm 未満程度	3mm/m 未満程度
Ⅱ 表層機能保持段階	20%以上程度	20mm 以上程度	3mm/m 以上程度
Ⅲ 修繕段階	40%以上程度	40mm 以上程度	8mm/m 以上程度

※ひび割れ率、わだち掘れ量、IRIのいずれかの管理基準のうち、最も損傷レベルの大きいものを当該区間を診断区分とする。

使用目標年数による判定により支持力不足が疑われると判定された箇所においては、適切な修繕工法の選定のため路盤・路床の状態を確認する詳細調査を実施

早急に補修が必要となる区間の約4km（表 6-1）のうち、ひび割れ率 40%以上の路線・区間を抽出すると表 6-2 の通りとなり、この 12 路線（1900m）を優先的に、補修計画を立案することでより効率的な計画に結び付くと考えられる。

表 6-1 補修対象区間一覧表

No	路線名	K p	MCI 今回実測値	MCI 評価区分	わだち 今回実測値	ひび割れ 今回実測値	σ 今回実測値	KPSI値	KPSI 区分	交通量
1	市道114号線	800	1.7	Ⅲ-2	32.9	37.5	2.95	8	Ⅲ	B
2	市道112-2号線	2300	2.5	Ⅲ-2	8.6	58	5.16	13	Ⅲ	B
3	市道114号線	200	2.5	Ⅲ-2	19.7	39.8	4.99	13	Ⅲ	B
4	市道114号線	500	2.3	Ⅲ-2	25.4	33.8	5.53	13	Ⅲ	B
5	市道101-2号線	4800	2.1	Ⅲ-2	14.8	69	5.59	18	Ⅲ	B
6	市道101-2号線	4900	2.2	Ⅲ-2	14.4	63.8	5.92	18	Ⅲ	B
7	市道112-2号線	2200	2.9	Ⅲ-2	11.3	47.6	2.51	18	Ⅲ	B
8	市道114号線	1400	1.9	Ⅲ-2	21.9	55.2	5.26	18	Ⅲ	B
9	市道114号線	3300	1.8	Ⅲ-2	22	58	7.27	18	Ⅲ	B
10	市道114号線	3400	1.6	Ⅲ-2	24.1	58.1	5.95	18	Ⅲ	B
11	市道116号線	1200	1.7	Ⅲ-2	26.1	50.1	4.3	18	Ⅲ	B
12	市道125号線往	2700	3	Ⅲ-2	9.1	45.4	4.89	18	Ⅲ	B
13	市道136号線路	600	2.6	Ⅲ-2	17.3	44.4	5.14	18	Ⅲ	B
14	市道137-1号線	1300	2.7	Ⅲ-2	5.1	51.4	4.11	18	Ⅲ	B
15	市道137-2号線	700	2.9	Ⅲ-2	9.7	47.7	5.8	18	Ⅲ	B
16	市道137-2号線	800	2.7	Ⅲ-2	10.6	52.8	4.19	18	Ⅲ	B
17	市道137-2号線	900	2.7	Ⅲ-2	8.7	51.2	6.41	18	Ⅲ	B
18	市道233号線	1200	2.5	Ⅲ-2	10.6	55.8	2.38	18	Ⅲ	B
19	市道260号線	100	2.6	Ⅲ-2	23.5	30.5	4.37	18	Ⅲ	B
20	市道232号線	200	2.8	Ⅲ-2	6.9	49.5	3.18	20	Ⅲ	B
21	市道108号線	400	3.3	Ⅲ-1	14.8	33.3	3.3	23	Ⅲ	B
22	市道108号線	500	3.5	Ⅲ-1	6.8	35	5.05	23	Ⅲ	B
23	市道112-2号線	1900	3.4	Ⅲ-1	11.6	36.5	5.42	23	Ⅲ	B
24	市道112-2号線	2400	3.4	Ⅲ-1	16.1	25.4	5.26	23	Ⅲ	B
25	市道112-2号線	2500	3.5	Ⅲ-1	15.5	25.2	3.85	23	Ⅲ	B
26	市道114号線	600	3.2	Ⅲ-1	17.7	27.9	5.13	23	Ⅲ	B
27	市道114号線	700	3.4	Ⅲ-1	14.4	28.2	5.33	23	Ⅲ	B
28	市道114号線	1100	2.3	Ⅲ-2	20.3	45.2	5.79	23	Ⅲ	B
29	市道125号線往	1100	3.5	Ⅲ-1	13.1	31.7	3.64	23	Ⅲ	B
30	市道125号線往路	2600	3.3	Ⅲ-1	14	34.2	3.47	23	Ⅲ	B
31	市道130号線路	1500	2.1	Ⅲ-2	30	30	3.95	23	Ⅲ	B
32	市道151号線	700	3.5	Ⅲ-1	9.3	35.8	4.95	23	Ⅲ	B
33	市道212号線	800	2.2	Ⅲ-2	23.8	40.8	5.36	23	Ⅲ	B
34	市道213号線	900	3.3	Ⅲ-1	17.5	24.2	6.09	23	Ⅲ	B
35	市道234-1号線	400	3.4	Ⅲ-1	7.7	37.3	4.04	23	Ⅲ	B
36	市道234-1号線	700	3.3	Ⅲ-1	5	38.9	2.91	23	Ⅲ	B
37	市道235号線	0	3.4	Ⅲ-1	11.6	36.8	4.97	23	Ⅲ	B
38	市道260号線	0	3.4	Ⅲ-1	17.7	23.5	5.55	23	Ⅲ	B
39	市道263-1号線	500	2.7	Ⅲ-2	11.8	52.1	4.2	23	Ⅲ	B

表 6-2 ひび割れ率 40%以上抽出表

No	路線名	Kp	MCI 今回実測値	MCI 評価区分	わだち 今回実測値	ひび割れ 今回実測値	平坦性σ 今回実測値	KPSI値	KPSI 区分	交通量
1	市道112-2号線	2300	2.5	Ⅲ-2	8.6	58	5.16	13	Ⅲ	B
2	市道101-2号線	4800	2.1	Ⅲ-2	14.8	69	5.59	18	Ⅲ	B
3	市道101-2号線	4900	2.2	Ⅲ-2	14.4	63.8	5.92	18	Ⅲ	B
4	市道112-2号線	2200	2.9	Ⅲ-2	11.3	47.6	2.51	18	Ⅲ	B
5	市道114号線	1400	1.9	Ⅲ-2	21.9	55.2	5.26	18	Ⅲ	B
6	市道114号線	3300	1.8	Ⅲ-2	22	58	7.27	18	Ⅲ	B
7	市道114号線	3400	1.6	Ⅲ-2	24.1	58.1	5.95	18	Ⅲ	B
8	市道116号線	1200	1.7	Ⅲ-2	26.1	50.1	4.3	18	Ⅲ	B
9	市道125号線往	2700	3	Ⅲ-2	9.1	45.4	4.89	18	Ⅲ	B
10	市道136号線	600	2.6	Ⅲ-2	17.3	44.4	5.14	18	Ⅲ	B
11	市道137-1号線	1300	2.7	Ⅲ-2	5.1	51.4	4.11	18	Ⅲ	B
12	市道137-2号線路	700	2.9	Ⅲ-2	9.7	47.7	5.8	18	Ⅲ	B
13	市道137-2号線	800	2.7	Ⅲ-2	10.6	52.8	4.19	18	Ⅲ	B
14	市道137-2号線	900	2.7	Ⅲ-2	8.7	51.2	6.41	18	Ⅲ	B
15	市道233号線	1200	2.5	Ⅲ-2	10.6	55.8	2.38	18	Ⅲ	B
16	市道232号線	200	2.8	Ⅲ-2	6.9	49.5	3.18	20	Ⅲ	B
17	市道114号線	1100	2.3	Ⅲ-2	20.3	45.2	5.79	23	Ⅲ	B
18	市道212号線	800	2.2	Ⅲ-2	23.8	40.8	5.36	23	Ⅲ	B
19	市道263-1号線	500	2.7	Ⅲ-2	11.8	52.1	4.2	23	Ⅲ	B

以上の検討結果を含め、整備5か年計画を例示する。

また、次項に記載する前回計画の未着手区間も対象とする。

表 6-3 整備 5 か年計画 (例)

	R8	R9	R10	R11	R12
延長	0.4km	1.0km	0.9km	0.7km	0.6km
概算費用(百万円)	23	60	52	41	35
選定路線 () 路線は前回計画 の残路線を含む	(市道 111 号線) (市道 215 号線)	市道 114 号 (市道 260 号線)	市道 114 号他 (市道 145 号線) (市道 260 号線)	市道 151 号 市道 116 号 市道 232 号	市道 101-2号線 市道 137-1号線 市道 233号線

※単価は R1 年～R5 年の道路ストック舗装修繕工事の 57,500 円/m を使用した。

〈 修繕工法の選定方法 〉

舗装は表層や基層および路盤から構成されており、修繕工法は舗装構造の健全度を評価し選定する必要がある。舗装構造の健全度を FWD 調査等（調査の要否は各年度判断）により評価し、適切な工法を選定する。

＜維持修繕の工法例＞

表層等修繕：切削オーバーレイ工法、打換え工法（表層等）

路盤打換え等：路盤を含めた舗装打換え工法、路上路盤再生工法

表 6-3 補修路線まとめ(1/5)

路線名	区間			ひび割れ (%)	わだち掘れ (mm)	平坦性 σ (mm)	MCI値	損傷 区分点 (Mc)	道路 区分点 (Be)	沿道 区分点 (Lo)	道路 モニタ 区分点 (Mo)	KPSI値	KPSI 23 以下
	起点	～	終点										
市道101-2号線	0		100	11.7	5.6	4.49	5.3	30	12	0	5	53	
	100		200	10.6	3.8	5.40	5.5	30	12	0	5	53	
	200		300	17.0	10.1	3.38	4.5	30	12	5	5	48	
	300		400	12.1	8.9	2.49	5.0	30	12	5	5	48	
	400		500	13.3	12.6	4.43	4.4	30	12	5	5	48	
	500		600	5.3	6.1	2.29	6.0	30	12	5	5	48	
	600		700	1.0	4.2	1.91	7.2	0	12	5	5	78	
	700		800	0.3	2.4	1.84	7.9	0	12	5	5	78	
	800		900	1.0	2.9	2.90	7.3	0	12	5	5	78	
	900		1000	6.1	5.9	3.10	5.9	30	12	5	5	48	
	1000		1100	0.2	5.4	2.02	7.5	0	12	5	5	78	
	1100		1200	1.1	5.6	2.25	6.9	0	12	5	10	73	
	1200		1300	1.7	4.2	2.35	6.9	0	12	5	10	73	
	1300		1400	6.1	6.2	2.94	5.8	30	12	5	10	43	
	1400		1500	14.5	8.1	3.34	4.9	30	12	5	10	43	
	1500		1600	15.9	4.1	2.38	4.9	30	12	5	10	43	
	1600		1700	3.8	7.0	2.62	6.1	0	12	10	10	68	
	1700		1800	18.6	8.9	5.72	4.4	30	12	10	10	38	
	1800		1900	10.5	7.6	3.51	5.2	30	12	10	10	38	
	1900		2000	4.6	9.2	3.82	5.7	30	12	10	10	38	
	2000		2100	5.0	7.9	3.36	5.8	30	12	10	10	38	
	2100		2200	0.4	7.2	2.39	7.1	0	12	10	10	68	
	2200		2300	1.9	9.4	2.67	6.2	0	12	10	10	68	
	2300		2400	2.3	6.1	2.96	6.5	0	12	10	10	68	
	2400		2500	2.8	8.2	4.16	6.1	0	12	10	10	68	
	2500		2600	1.7	10.2	4.11	6.2	0	12	10	10	68	
	2600		2700	0.2	14.1	3.71	6.6	0	12	10	10	68	
	2700		2800	0.2	3.6	2.33	7.8	0	12	10	10	68	
	2800		2900	0.3	6.4	1.97	7.4	0	12	10	10	68	
	2900		3000	2.0	6.6	2.02	6.6	0	12	10	10	68	
	3000		3100	1.3	9.5	2.60	6.4	0	12	10	10	68	
	3100		3200	2.6	6.3	2.01	6.4	0	12	10	5	73	
	3200		3300	0.5	6.5	2.53	7.2	0	12	10	5	73	
	3300		3400	0.3	10.5	1.97	7.0	0	12	10	5	73	
	3400		3500	8.3	6.0	4.12	5.6	30	12	10	5	43	
	3500		3600	15.0	9.9	4.95	4.6	30	12	10	5	43	
	3600		3700	16.7	9.4	4.41	4.5	30	12	10	5	43	
	3700		3800	2.2	6.2	2.48	6.5	0	12	10	5	73	
	3800		3900	0.1	6.9	1.68	7.7	0	12	10	5	73	
	3900		4000	0.3	6.2	2.02	7.3	0	12	10	5	73	
	4000		4100	0.0	6.7	1.65	8.0	0	12	10	5	73	
	4100		4200	11.2	5.5	4.49	5.4	30	12	10	5	43	
	4200		4300	13.7	10.7	2.50	4.7	30	12	10	5	43	
	4300		4400	32.6	13.6	6.20	3.3	45	12	10	5	28	
	4400		4500	18.2	14.5	4.67	3.9	40	12	10	5	33	
	4500		4600	8.5	5.4	2.25	5.7	30	12	10	5	43	
	4600		4700	4.5	5.9	5.17	6.0	30	12	10	5	43	
	4700		4800	6.2	8.1	1.68	5.7	30	12	10	5	43	
	4800		4900	69.0	14.8	5.59	2.1	55	12	10	5	18	●
	4900		4977	63.8	14.4	5.92	2.2	55	12	10	5	18	●
市道108号線	0		100	13.5	7.3	5.13	4.9	30	12	10	10	38	
	100		200	19.8	11.4	3.44	4.2	30	12	10	10	38	
	200		300	29.5	11.2	4.01	3.7	40	12	10	10	28	
	300		400	29.5	7.1	4.61	3.8	40	12	10	10	28	
	400		500	33.3	14.8	3.3	3.3	45	12	10	10	23	●
	500		600	35	6.8	5.05	3.5	45	12	10	10	23	●
	600		700	19.1	5.3	2.14	4.6	30	12	10	10	38	
	700		731	11.4	5.3	1.92	5.4	30	12	10	10	38	

表 6-3 補修路線まとめ(2/5)

路線名	区間			ひび割れ (%)	わだち掘れ (mm)	平坦性 σ (mm)	MCI値	損傷区分点 (Mc)	道路区分点 (Be)	沿道区分点 (Lo)	道路モニタ区分点 (Mo)	KPSI値	KPSI 23 以下
	起点	～	終点										
市道112-2号線	0		100	7.7	7.5	4.91	5.4	30	12	10	10	38	
	100		200	0.5	5.6	1.77	7.3	0	12	10	10	68	
	200		300	8.8	5.8	4.42	5.5	30	12	10	10	38	
	300		400	16.1	8.1	3.15	4.7	30	12	10	10	38	
	400		500	12.4	6	1.99	5.3	30	12	0	10	48	
	500		600	6	5.9	3.26	5.9	30	12	0	10	48	
	600		700	6.5	6	4.43	5.8	30	12	0	10	48	
	700		800	3	2.8	2.04	6.8	0	12	0	10	78	
	800		900	2.5	4.8	2.36	6.6	0	12	0	10	78	
	900		1000	45.2	8.6	5.35	3.0	50	12	0	10	28	
	1000		1100	40.8	15.5	2.92	2.9	50	12	0	10	28	
	1100		1200	26.6	7.1	3.91	4.0	40	12	0	10	38	
	1200		1300	18.7	11.5	4.92	4.2	30	12	0	10	48	
	1300		1400	22.5	7.1	4.87	4.3	30	12	0	10	48	
	1400		1500	25.6	17.6	5.68	3.3	45	12	0	10	33	
	1500		1600	15.3	7.1	2.64	4.9	30	12	0	10	48	
	1600		1700	27.2	7.3	3.57	4.0	40	12	0	10	38	
	1700		1800	9.5	7.5	2.8	5.3	30	12	0	10	48	
	1800		1900	36.7	7.6	3.27	3.4	45	12	0	10	33	
	1900		2000	36.5	11.6	5.42	3.4	45	12	10	10	23	●
	2000		2100	21.3	7	4.73	4.4	30	12	10	10	38	
	2100		2200	16.2	8.8	2.25	4.7	30	12	10	10	38	
	2200		2300	47.6	11.3	2.51	2.9	50	12	10	10	18	●
	2300		2400	58	8.6	5.16	2.5	55	12	10	10	13	●
	2400		2500	25.4	16.1	5.26	3.4	45	12	10	10	23	●
	2500		2600	25.2	15.5	3.85	3.5	45	12	10	10	23	●
	2600		2620	14.6	10.7	4.5	4.5	30	12	10	10	38	
市道114号線	0		100	21.4	7	7.03	4.4	30	12	10	10	38	
	100		200	30.1	11.2	4.89	3.7	40	12	10	10	28	
	200		300	39.8	19.7	4.99	2.5	55	12	10	10	13	●
	300		400	13.1	21.4	4.31	3.7	40	12	10	10	28	
	400		500	18.5	14.3	2.57	4.0	40	12	10	10	28	
	500		600	33.8	25.4	5.53	2.3	55	12	10	10	13	●
	600		700	27.9	17.7	5.13	3.2	45	12	10	10	23	●
	700		800	28.2	14.4	5.33	3.4	45	12	10	10	23	●
	800		900	37.5	32.9	2.95	1.7	60	12	10	10	8	●
	900		1000	28.3	8.4	1.84	3.9	40	12	10	0	38	
	1000		1100	22.2	11.1	1.57	4.2	30	12	10	0	48	
	1100		1200	45.2	20.3	5.79	2.3	55	12	10	0	23	●
	1200		1300	23.5	11.2	6.01	3.9	40	12	10	0	38	
	1300		1400	30.6	14.3	6.14	3.3	45	12	10	0	33	
	1400		1500	55.2	21.9	5.26	1.9	60	12	10	0	18	●
	1500		1600	28.7	13.5	2.85	3.6	40	12	10	0	38	
	1600		1700	0	3.7	1.44	8.7	0	12	10	0	78	
	1700		1800	0	3.2	1.37	8.8	0	12	10	0	78	
	1800		1900	0.5	4.7	1.91	7.4	0	12	10	0	78	
	1900		2000	1	3.1	2.99	7.3	0	12	10	0	78	
	2000		2100	0.1	4	2.32	7.9	0	12	10	0	78	
	2100		2200	0.8	3	1.69	7.4	0	12	10	0	78	
	2200		2300	0.7	2.6	1.69	7.6	0	12	10	0	78	
	2300		2400	4.3	2.5	1.62	6.5	0	12	10	10	68	
	2400		2500	9.1	3.1	1.28	5.7	30	12	10	10	38	
	2500		2600	3.6	4.2	1.44	6.5	0	12	10	10	68	
	2600		2700	9.1	3.4	1.6	5.7	30	12	10	10	38	
	2700		2800	7.3	3.9	2.08	5.9	30	12	10	10	38	
	2800		2900	8.9	2.7	3.06	5.7	30	12	10	10	38	
	2900		3000	27.4	7.5	3.59	4.0	40	12	0	10	38	
	3000		3100	34.5	10.3	4.59	3.5	45	12	0	10	33	
	3100		3200	25.9	16.9	4.92	3.3	45	12	0	10	33	
	3200		3300	40.1	16.1	3.55	2.9	50	12	0	10	28	
	3300		3400	58	22	7.27	1.8	60	12	0	10	18	●
	3400		3493	58.1	24.1	5.95	1.6	60	12	0	10	18	●
市道116号線	0		100	22.2	7.3	3.09	4.3	30	12	0	10	48	
	100		200	33.2	8.6	2.37	3.6	40	12	0	10	38	
	200		300	28.4	6.5	4.41	3.9	40	12	10	10	28	
	300		400	25.4	7.2	3.89	4.1	30	12	10	10	38	
	400		500	24.6	6.4	5.77	4.2	30	12	10	10	38	
	500		600	31.2	4.8	2.83	3.7	40	12	0	10	38	
	600		700	32	11.4	3.66	3.6	40	12	0	10	38	
	700		800	20.8	14.8	5.86	3.7	40	12	0	10	38	
	800		900	48.7	12.3	7.05	2.8	50	12	0	10	28	
	900		1000	15.7	11.8	2.89	4.4	30	12	0	10	48	
	1000		1100	35.5	20.3	4.84	2.6	50	12	0	10	28	
	1100		1200	36.5	16.9	5.5	2.9	50	12	0	10	28	
	1200		1300	50.1	26.1	4.3	1.7	60	12	0	10	18	●
	1300		1353	22.3	8.7	3.79	4.3	30	12	0	10	48	

表 6-3 補修路線まとめ(3/5) 挿入

路線名	区間			ひび割れ (%)	わだち掘れ (mm)	平坦性 σ (mm)	MCI値	損傷 区分点 (Mc)	道路 区分点 (Be)	沿道 区分点 (Lo)	道路 モニタ 区分点 (Mo)	KPSI値	KPSI 23 以下
	起点	～	終点										
市道125号線	0		100	5.7	9.7	3	5.5	30	12	10	10	38	
	100		200	2.7	12.1	2.27	5.8	30	12	10	10	38	
	200		300	1.4	15.8	3	5.8	30	12	10	10	38	
	300		400	3.6	14.1	2.65	5.4	30	12	10	10	38	
	400		500	0.5	16.7	2.23	6.1	0	12	10	10	68	
	500		600	1.5	11.6	2.77	6.1	0	12	10	10	68	
	600		700	9.8	11.4	2.48	4.9	30	12	10	10	38	
	700		800	16.5	8.7	2.58	4.7	30	12	10	10	38	
	800		900	1.7	13.2	1.97	6.0	30	12	10	10	38	
	900		1000	2.9	15.6	2.88	5.4	30	12	10	10	38	
	1000		1100	19.4	17.9	3.33	3.6	40	12	10	10	28	
	1100		1200	31.7	13.1	3.64	3.5	45	12	10	10	23	●
	1200		1300	7.3	3.7	3.6	6.0	30	12	10	10	38	
	1300		1400	8.1	4	2.09	5.8	30	12	10	10	38	
	1400		1500	9.9	5.9	3.1	5.5	30	12	10	10	38	
	1500		1600	10.9	5.4	4.04	5.4	30	12	10	10	38	
	1600		1700	3.4	6.3	2.29	6.3	0	12	10	10	68	
	1700		1800	0.4	3.7	1.99	7.7	0	12	10	0	78	
	1800		1900	0.5	5.1	2.12	7.4	0	12	10	0	78	
	1900		2000	0.3	3	1.95	7.8	0	12	10	0	78	
	2000		2100	0.1	3.7	2.07	8.1	0	12	10	0	78	
	2100		2200	0.1	3.6	1.38	8.1	0	12	10	0	78	
	2200		2300	3.3	4.5	1.94	6.5	0	12	10	0	78	
	2300		2400	21.6	7.9	2.53	4.4	30	12	10	0	48	
	2400		2500	28.8	9.7	3.97	3.9	40	12	10	10	28	
	2500		2600	26.5	14.5	3.46	3.6	40	12	10	10	28	
	2600		2700	34.2	14	3.47	3.3	45	12	10	10	23	●
	2700		2800	45.4	9.1	4.89	3.0	50	12	10	10	18	●
	2800		2900	26.8	11.7	2.81	3.8	40	12	10	10	28	
	2900		3000	26.6	11.4	4.13	3.8	40	12	10	10	28	
	3000		3100	14.5	7.9	2.06	4.9	30	12	10	10	38	
	3100		3200	9.7	7.5	1.46	5.4	30	12	10	10	38	
	3200		3300	15.5	7.6	4.63	4.8	30	12	10	10	38	
	3300		3400	18.3	6.6	2.64	4.7	30	12	10	10	38	
	3400		3500	8.3	4.8	1.71	5.8	30	12	10	10	38	
	3500		3600	10.5	3	2.19	5.5	30	12	10	10	38	
	3600		3700	27.6	11.1	2.77	3.9	40	12	5	10	33	
	3700		3800	24	6.4	2.84	4.2	30	12	5	10	43	
	3800		3900	15.9	9.4	2.07	4.7	30	12	5	10	43	
	3900		4000	15.3	11.2	1.71	4.5	30	12	5	10	43	
	4000		4100	3.9	8.7	1.6	5.9	30	12	5	10	43	
	4100		4200	1.4	4.3	1.96	7.0	0	12	5	10	73	
	4200		4300	12.5	9.4	2.82	4.9	30	12	5	10	43	
	4300		4400	20.2	11.7	2.42	4.2	30	12	5	10	43	
	4400		4500	16.7	7.6	1.3	4.8	30	12	5	10	43	
	4500		4600	10	9.1	2.64	5.1	30	12	5	10	43	
	4600		4630	0.2	19.5	1.69	5.7	30	12	5	10	43	
市道130号線	0		100	7.4	11.9	4.57	5.0	30	12	10	10	38	
	100		200	8.1	12.4	3.9	4.9	30	12	10	10	38	
	200		300	3.2	16	2.54	5.3	30	12	10	10	38	
	300		400	3.6	18.7	2.37	5.0	30	12	10	10	38	
	400		500	3	17.6	2.45	5.2	30	12	10	10	38	
	500		600	3.2	17.4	2.06	5.2	30	12	0	10	48	
	600		700	8.8	12.6	2.1	4.9	30	12	0	10	48	
	700		800	7.2	11.9	3.14	5.1	30	12	0	10	48	
	800		900	1.9	14.9	1.99	5.7	30	12	0	10	48	
	900		1000	7.4	8.8	2.06	5.4	30	12	0	10	48	
	1000		1100	16.8	14.1	4.07	4.1	30	12	0	10	48	
	1100		1200	14.6	11.8	3.09	4.5	30	12	0	10	48	
	1200		1300	11.9	6.7	2.39	5.2	30	12	0	10	48	
	1300		1400	10.5	4.7	3.96	5.5	30	12	0	10	48	
	1400		1500	9.9	16.6	4.29	4.4	30	12	0	10	48	
	1500		1600	30	30	3.95	2.1	55	12	0	10	23	●
	1600		1700	5.6	9.2	1.4	5.6	30	12	0	10	48	
	1700		1800	46.1	7.3	4.6	3.0	50	12	0	10	28	
	1800		1900	46.2	4.6	3.86	3.0	50	12	0	10	28	
	1900		1943	21.8	5.3	3.13	4.4	30	12	0	10	48	
市道136号線	0		100	8.7	17.7	5.73	4.3	30	12	10	10	38	
	100		200	8.9	19.4	4.67	4.2	30	12	10	10	38	
	200		300	10.8	20	5.12	4.0	40	12	10	10	28	
	300		400	16.5	17.7	4.67	3.8	40	12	10	10	28	
	400		500	6.3	25.2	3.81	4.0	40	12	10	10	28	
	500		600	9.8	11.7	3.67	4.8	30	12	10	10	38	
	600		700	44.4	17.3	5.14	2.6	50	12	10	10	18	●
	700		800	23	4.1	3.82	4.3	30	12	10	10	38	
	800		835	28.4	26.1	5.14	2.5	55	0	0	10	35	

表 6-3 補修路線まとめ(4/5) 挿入

路線名	区間			ひび割れ (%)	わだち掘れ (mm)	平坦性 σ (mm)	MCI値	損傷区分 点 (Mc)	道路区分 点 (Be)	沿道区分 点 (Lo)	道路モニタ 区分点 (Mo)	KPSI値	KPSI 23 以下
	起点	～	終点										
市道137-1号線	0		100	14.1	5	4.19	5.1	30	12	10	10	38	
	100		200	13.7	4.9	3.78	5.1	30	12	10	10	38	
	200		300	13.3	4.3	3.54	5.2	30	12	10	10	38	
	300		400	12.1	2.9	4.71	5.3	30	12	10	10	38	
	400		500	8.5	1.7	2.41	5.8	30	12	10	10	38	
	500		600	14.2	2.9	4.87	5.1	30	12	10	10	38	
	600		700	26.4	4.9	3.1	4.0	40	12	10	10	28	
	700		800	20.6	6	4.39	4.5	30	12	10	10	38	
	800		900	22	5.4	4.15	4.4	30	12	10	10	38	
	900		1000	11.8	4.4	3.3	5.3	30	12	10	10	38	
	1000		1100	7.8	4.7	5.22	5.7	30	12	10	10	38	
	1100		1200	2	1.4	2.27	7.3	0	12	10	0	78	
	1200		1300	16.7	6	3.46	4.8	30	12	10	10	38	
	1300		1400	51.4	5.1	4.11	2.7	50	12	10	10	18	●
	1400		1500	16	7.1	6.36	4.8	30	6	5	10	49	
市道137-2号線	1500		1539	27.1	16.1	5.24	3.3	45	6	5	10	34	
	0		100	32	5.1	3.63	3.7	40	12	10	0	38	
	100		200	4.7	3.9	4.16	6.3	0	12	10	0	78	
	200		300	16.9	2.1	2.09	4.8	30	12	8	0	50	
	300		400	26.6	4.7	4.25	4.0	40	12	8	0	40	
	400		500	14	2.9	2.99	5.1	30	12	8	0	50	
	500		600	25.6	4.4	3.86	4.1	30	12	8	0	50	
	600		700	33.9	9.4	5.24	3.6	40	12	10	10	28	
	700		800	47.7	9.7	5.8	2.9	50	12	10	10	18	●
	800		900	52.8	10.6	4.19	2.7	50	12	10	10	18	●
市道151号線	900		966	51.2	8.7	6.41	2.7	50	12	10	10	18	●
	0		100	6.5	5.1	3.98	5.9	30	12	0	10	48	
	100		200	22	6.8	2.99	4.4	30	12	0	10	48	
	200		300	19.8	7.2	3.34	4.5	30	12	10	10	38	
	300		400	8.6	6.1	3.19	5.5	30	12	10	10	38	
	400		500	3.4	6.2	1.92	6.3	0	12	10	10	68	
	500		600	16.2	3.6	3.58	4.9	30	12	10	10	38	
	600		700	28.8	8.2	5.05	3.9	40	12	10	10	28	
	700		800	35.8	9.3	4.95	3.5	45	12	10	10	23	●
	800		900	9.9	5	1.88	5.6	30	12	10	10	38	
	900		1000	8.3	7.3	2.04	5.5	30	12	10	10	38	
	1000		1100	10.2	11.1	3.56	4.9	30	12	10	10	38	
	1100		1200	5.3	6.9	1.75	5.9	30	12	0	10	48	
	1200		1300	7.8	6.3	2.88	5.6	30	12	0	0	58	
	1300		1400	14.7	6.6	3.72	5.0	30	12	0	10	48	
	1400		1500	23.5	13.2	3.61	3.8	40	12	0	10	38	
	1500		1600	33.9	18.3	3.33	2.9	50	12	0	10	28	
	1600		1700	16.6	14	3.47	4.1	30	12	0	10	48	
	1700		1800	21.2	7.4	2.77	4.4	30	12	0	10	48	
	1800		1900	40.5	16.6	3.88	2.8	50	12	0	10	28	
市道212号線	1900		2000	43.7	11.2	3.73	3.1	45	12	0	10	33	
	2000		2073	40.7	8.2	7.44	3.2	45	12	0	10	33	
	0		100	0.7	4.5	3.48	7.2	0	12	0	10	78	
	100		200	0	2	1.88	9.0	0	12	0	10	78	
	200		300	2.1	5.3	3.14	6.6	0	12	0	10	78	
	300		400	32.7	13.9	4.42	3.3	45	12	0	10	33	
	400		500	11.8	7.3	4.18	5.1	30	12	0	10	48	
	500		600	21.6	13.5	3.9	3.9	40	12	0	10	38	
	600		700	39.3	19.1	3.17	2.7	50	12	0	10	28	
	700		800	37.6	8.8	4.12	3.4	45	12	0	10	33	
	800		900	40.8	23.8	5.36	2.2	55	12	0	10	23	●
	900		1000	25.4	13.4	5.27	3.7	40	12	0	10	38	
	1000		1100	33.3	20.4	4.13	2.7	50	12	0	10	28	
	1100		1200	26	11	5.92	3.8	40	12	0	10	38	
	1200		1300	28	21.2	6.85	2.8	50	12	0	10	28	
市道213号線	1300		1400	24.5	8.9	4.23	4.2	30	12	0	10	48	
	1400		1500	23	11.2	3.08	4.0	40	12	0	10	38	
	1500		1600	40.6	16.7	5.89	2.8	50	12	0	10	28	
	1600		1700	28.1	12.2	3.09	3.7	40	12	0	10	38	
	1700		1800	23.2	9.5	3.04	4.2	30	12	0	10	48	
	1800		1833	51.5	9.8	5.32	2.7	50	12	0	10	28	
	0		100	4.3	7.3	3.64	5.9	30	12	0	10	48	
	100		200	10	7.2	5.4	5.2	30	12	0	10	48	
	200		300	21.3	9.6	4.54	4.3	30	12	0	10	48	
	300		400	19	9.8	2.31	4.4	30	12	0	10	48	
	400		500	24.6	11.5	4.85	3.9	40	12	0	10	38	
	500		600	18.7	7.9	4.17	4.6	30	12	0	10	48	
	600		700	16.2	4	3.52	4.9	30	12	0	10	48	
	700		800	25.9	6.9	2.33	4.1	30	12	0	10	48	
	800		900	22.5	5.9	3.9	4.3	30	12	10	10	38	
	900		1000	24.2	17.5	6.09	3.3	45	12	10	10	23	●
	1000		1047	9	4.5	5.86	5.6	30	12	10	10	38	

表 6-3 補修路線まとめ(5/5) 挿入

路線名	区間			ひび割れ (%)	わだち 掘れ (mm)	平坦性 σ (mm)	MCI値	損傷 区分 点 (Mc)	道路 区分 点 (Be)	沿道 区分 点 (Lo)	道路 モニタ 区分点 (Mo)	KPSI値	KPSI 23 以下
	起点	～	終点										
市道232号線	0		100	14.4	9	5.36	4.7	30	12	10	10	38	
	100		200	31.8	7.6	4.82	3.7	40	12	8	10	30	
	200		300	49.5	6.9	3.18	2.8	50	12	8	10	20	●
	300		400	16.3	4.5	2.93	4.8	30	12	8	10	40	
	400		500	0.3	2.6	3.86	7.7	0	12	8	0	80	
	500		600	1	4.2	2.65	7.2	0	12	8	0	80	
	600		700	0.6	2.9	1.8	7.6	0	12	8	0	80	
	700		800	13.2	9.1	4.67	4.8	30	12	8	10	40	
	800		900	21.4	9.7	3.28	4.3	30	12	10	10	38	
	900		1000	4.9	9.8	3.84	5.6	30	12	10	10	38	
	1000		1021	5.8	12.9	6.22	5.1	30	12	10	10	38	
市道233号線	0		100	14.2	3	3.84	5.1	30	12	5	10	43	
	100		200	16	2.1	3.3	4.9	30	12	5	10	43	
	200		300	14.9	1.9	3.66	5.0	30	12	5	10	43	
	300		400	15.8	2.1	2.46	4.9	30	12	5	10	43	
	400		500	19.9	1.9	3.05	4.5	30	12	5	10	43	
	500		600	7	2.8	4.36	6.0	30	12	5	10	43	
	600		700	8.5	6.3	4.91	5.5	30	12	5	10	43	
	700		800	8.4	6.6	3.06	5.5	30	12	5	10	43	
	800		900	18.6	5.7	2.19	4.6	30	12	5	10	43	
	900		1000	21.2	9.5	1.71	4.4	30	12	5	10	43	
	1000		1100	41.4	6.7	3.75	3.2	45	12	5	10	28	
	1100		1200	35.4	8.2	3.6	3.5	45	12	5	10	28	
	1200		1300	55.8	10.6	2.38	2.5	55	12	5	10	18	●
	1300		1400	20.3	4.7	6.64	4.5	30	12	5	10	43	
	1400		1500	29.7	6.9	4.89	3.8	40	12	5	10	33	
	1500		1600	32.6	6.6	5.89	3.7	40	12	5	10	33	
	1600		1615	31.4	3.4	7.01	3.7	40	12	5	10	33	
市道234-1号線	0		100	31.6	8.9	6.83	3.7	40	12	10	10	28	
	100		200	11.3	2.6	3.57	5.4	30	12	10	10	38	
	200		300	23.5	3.8	4.08	4.3	30	12	10	10	38	
	300		400	31.4	6	3.39	3.7	40	12	10	10	28	
	400		500	37.3	7.7	4.04	3.4	45	12	10	10	23	●
	500		600	29.7	7.4	2.74	3.8	40	12	10	10	28	
	600		700	34.1	7.8	3.38	3.6	40	12	10	10	28	
	700		800	38.9	5	2.91	3.3	45	12	10	10	23	●
	800		900	28.3	3.7	2.61	3.9	40	12	8	10	30	
	900		1000	18.5	5.4	3.04	4.6	30	12	8	10	40	
市道235号線	1000		1014	24.1	6.1	6.56	4.2	30	12	8	10	40	
	0		100	36.8	11.6	4.97	3.4	45	12	10	10	23	●
	100		200	18	10	2.9	4.4	30	12	10	10	38	
	200		300	23	9.1	4.54	4.2	30	12	10	10	38	
	300		400	24.5	12.9	4.43	3.8	40	12	10	10	28	
	400		500	4.2	8.3	3.71	5.8	30	12	10	10	38	
	500		600	2.1	9.7	3	6.1	0	12	10	10	68	
	600		700	5.3	5.2	2.63	6.1	0	12	10	10	68	
市道260号線	700		749	8.4	4.2	4.11	5.8	30	12	10	10	38	
	0		100	23.5	17.7	5.55	3.4	45	12	10	10	23	●
	100		200	30.5	23.5	4.37	2.6	50	12	10	10	18	●
	200		300	32	10.3	6.38	3.7	40	12	10	10	28	
	300		400	8	7.5	4.2	5.4	30	12	10	10	38	
	400		500	16.6	8.5	5.41	4.6	30	12	10	10	38	
	500		600	19.4	11.1	6.82	4.1	30	12	10	10	38	
市道263-1号線	600		675	4.1	5.9	6.7	6.1	0	12	10	10	68	
	0		100	4.2	7.5	4.82	5.9	30	12	10	5	43	
	100		200	25.1	9.8	4.45	4.0	40	12	10	5	33	
	200		300	18.7	9.4	3.69	4.4	30	12	10	5	43	
	300		400	32.5	15.1	5.14	3.2	45	12	10	5	28	
	400		500	33.6	13.2	3.52	3.4	45	12	10	5	28	
	500		537	52.1	11.8	4.2	2.7	50	12	10	5	23	●

MCI

- 3.1未満
- 3.1以上、4.1未満
- 4.1以上、5.1未満
- 5.1以上

KPSI

- 20未満
- 20以上、40未満
- 40以上、60未満
- 60以上、80未満
- 80以上

5-2) 前回実績も踏まえた修繕区間の選定

『木更津市道路舗装維持修繕計画【改訂版】R2 年度』にて選定された修繕対象区間は表 6-4 のようになっており、全 22 路線・区間計 12.9km となっていた。このうち、現時点において修繕済みまたは修繕予定のある区間は 5.8km あり、7.1km が未着手である。

この未着手区間についても、本計画にて選定された区間と合わせて修繕を行っていく方針とする。

表 6-4 R1～5 修繕計画対象区間一覧

修繕 区間 番号	等級	市道番号	区間	区間距離	点検年月	ひび割れ	わだち掘れ	平坦性 σ [mm]	縦断凹凸 IRI [mm/m]	MCI	KPSI	平均MCI	ランク (細別)	修繕時期
			起点 終点	[m]		[%]	[mm]							
1-1	1級	101-1	300 ~ 400	100	2019/12	20.7	29	7.6	10.35	2.6	32	2.9	III-2	
			400 ~ 500	100	2019/12	36.2	14.6	5.6	7.69	3.1	37		II-2	
			500 ~ 600	100	2019/12	42.4	14.6	7.1	9.68	2.9	30		III-3	
			600 ~ 700	100	2019/12	42.3	16.2	4.09	6.76	2.8	30		III-3	
1-2	1級	108	300 ~ 400	100	2019/12	24.6	11.3	5.63	7.73	3.9	28	3.2	II-3	
			400 ~ 500	100	2019/12	47.9	10.1	3.65	5.09	2.9	18		III-3	
			500 ~ 600	100	2019/12	52.6	7	6.94	9.47	2.7	18		III-3	
1-3	1級	111	0 ~ 100	100	2019/12	21.7	21.3	9.39	12.73	3.1	40	2.5	II-2	R5
			100 ~ 200	100	2019/12	34.6	30.4	6.91	9.43	1.9	25		III-3	R5
			200 ~ 300	100	2019/12	31.8	15.7	7.08	9.66	3.1	45		II-1	
			300 ~ 400	100	2019/12	26.1	14.2	9.12	12.37	3.5	45		II-1	
			400 ~ 500	100	2019/12	38.4	14.1	8.81	11.96	3	40		III-2	R5
			500 ~ 600	100	2019/12	40.8	17.9	12.54	16.92	2.5	35		III-2	R5
			600 ~ 700	100	2019/12	30.9	28.3	8.62	11.7	2.1	35		III-2	R5
			700 ~ 800	100	2019/12	41.4	224.8	7.69	10.47	2	30		III-3	R6
			800 ~ 900	100	2019/12	37.6	24.3	7.43	10.12	2.2	35		III-2	R6
			900 ~ 1000	100	2019/12	43.8	25.2	8.67	11.77	1.9	30		III-3	R7
			1000 ~ 1100	100	2019/12	31.2	24.7	12.4	16.73	2.3	35		III-2	R7
			1100 ~ 1200	100	2019/12	23.5	27.8	8.61	11.69	2.5	35		III-2	R7
			400 ~ 500	100	2019/12	15.9	27.9	7.33	9.99	2.9	23	2.9	III-3	
			500 ~ 600	100	2019/12	21.8	30.8	6.57	8.98	2.4	28		III-3	
			600 ~ 700	100	2019/12	17.3	22.1	8	10.88	3.3	38		II-2	
			800 ~ 900	100	2019/12	0.1	37.6	17.05	22.92	3.2	38		II-2	
1-4	1級	112-2	900 ~ 1000	100	2019/12	51.3	20.1	13.06	17.61	2	23	2.2	III-3	
			1000 ~ 1100	100	2019/12	54.7	24.2	5.13	7.06	1.7	23		III-3	
			1100 ~ 1200	100	2019/12	49.7	22.5	7.74	10.53	2	23		III-3	
			1200 ~ 1300	100	2019/12	33.8	31.2	10.69	14.46	1.8	23		III-3	
			1300 ~ 1400	100	2019/12	28.1	18	8.16	11.09	3.1	38	2.9	II-2	
			1400 ~ 1500	100	2019/12	48.7	23.2	9.26	12.56	1.9	23		III-3	
			1800 ~ 1900	100	2019/12	23.1	20.2	6.53	8.92	3.1	38		II-2	
			1900 ~ 2000	100	2019/12	57.8	19.4	8.36	11.36	2	13		III-3	
			2000 ~ 2100	100	2019/12	24.7	23.8	8.13	11.05	2.7	23		III-3	
			2100 ~ 2200	100	2019/12	8.3	21.7	6.57	8.98	4	33		II-2	
			2200 ~ 2300	100	2019/12	27.4	19.2	6.64	9.07	3	23		III-3	
			2300 ~ 2400	100	2019/12	27.3	21.4	7.95	10.81	2.8	23		III-3	
			2400 ~ 2500	100	2019/12	31.9	23.1	8.29	11.27	2.5	18		III-3	
1-5	1級	114	900 ~ 1000	100	2019/12	17.2	22	5.11	7.04	3.3	23	3.2	II-3	R6
			1000 ~ 1100	100	2019/12	26.8	18.6	5.33	7.33	3.1	23		II-3	R6
			1100 ~ 1200	100	2019/12	41.9	17.6	7.55	10.28	2.6	18		III-3	R5
			1200 ~ 1300	100	2019/12	13.7	17.1	8.01	10.89	3.9	28		II-3	R3
			1300 ~ 1400	100	2019/12	23.9	15.3	5.79	7.94	3.5	23		II-3	R3
			1400 ~ 1500	100	2019/12	26.1	14.1	4.54	6.28	3.6	28		II-3	R3
			1500 ~ 1600	100	2019/12	12	14.9	3.29	4.62	4.4	38		I-2	R3
			1600 ~ 1700	100	2019/12	27.6	24	5.78	7.93	2.6	18		III-3	R1
			1700 ~ 1800	100	2019/12	31.9	14.9	4.06	5.64	3.3	23		II-3	R1
			1800 ~ 1900	100	2019/12	32.7	15.5	5.15	7.09	3.2	23		II-3	R1
			1900 ~ 2000	100	2019/12	40.2	22.5	8.44	11.47	2.2	13		III-3	R1
			2000 ~ 2100	100	2019/12	32.8	16.1	5.12	7.05	3.1	23		II-3	R1
			2300 ~ 2400	100	2019/12	20.3	17	5.5	7.56	3.6	28	3.2	II-3	
			2400 ~ 2500	100	2019/12	23.7	17.5	4.63	6.4	3.4	23		II-3	
			2500 ~ 2600	100	2019/12	27.4	18.6	6.73	9.19	3.1	23		II-3	
			2600 ~ 2700	100	2019/12	26.9	21.7	5.63	7.73	2.9	18		III-3	
1-6	1級	116	2700 ~ 2800	100	2019/12	12.6	31	8.25	11.21	2.9	18	2.5	III-3	
			200 ~ 300	100	2019/12	17.3	19.8	7.67	10.44	3.5	28		II-3	
			300 ~ 400	100	2019/12	31.6	39.8	19.58	26.28	1.2	13		III-3	
			400 ~ 500	100	2019/12	23.4	23.1	10.18	13.78	2.8	23		III-3	
			1000 ~ 1100	100	2019/12	21.6	25	9.77	13.23	2.8	33	2.5	III-2	
			1100 ~ 1200	100	2019/12	39.8	24	10.51	14.22	2.1	28		III-3	
1-7	1級	120	1200 ~ 1300	100	2019/12	45.9	30.1	8.37	11.37	1.5	23	2.8	III-3	
			1300 ~ 1355.5	55.5	2019/12	13.7	19.2	11.08	14.98	3.7	43		II-1	
			400 ~ 500	100	2019/12	26.2	24	7.32	9.98	2.7	18		III-3	R3
1-8	1級	121	1600 ~ 1700	100	2019/12	54.3	13	6.39	8.74	2.6	20	2.6	III-3	
1-9	1級	122	200 ~ 300	100	2019/12	37	16.2	4.84	66.68	2.9	18	2.9	III-3	

1-10	1級	125(往) ※斜字は 復路対象	1700 ~ 1800	100	2019/12	12.4	8.5	5.17	7.12	4.9	38	3.5	I -2	R4
			1800 ~ 1900	100	2019/12	13.8	8.8	3.88	5.4	4.8	38		I -2	R5
			1900 ~ 2000	100	2019/12	47.6	12.3	5.62	7.71	2.9	18		III-3	R6
			2000 ~ 2100	100	2019/12	41.7	13	6.23	8.53	3	18		III-3	R6
			2100 ~ 2200	100	2019/12	48.1	19.6	4.39	6.08	2.3	13		III-3	R6
			2200 ~ 2300	100	2019/12	44.8	12.9	4.93	6.8	3	18		III-3	R6
			2300 ~ 2400	100	2019/12	38.7	10.2	3.35	4.7	3.3	23		II-3	R7
			2400 ~ 2500	100	2019/12	36.1	10.9	5.38	7.4	3.5	23		II-3	R7
			2500 ~ 2600	100	2019/12	14.3	14.7	5.39	7.41	4.2	38		I -2	R7
			2600 ~ 2700	100	2019/12	47.9	18.1	5.89	8.07	2.4	13		III-3	R7
			2700 ~ 2800	100	2019/12	47.6	13.6	4.84	6.68	2.8	18		III-3	R7
			2800 ~ 2900	100	2019/12	39.4	12.1	3.3	4.63	3.3	23		II-3	R7
			2900 ~ 3000	100	2019/12	36.2	13.6	5.02	6.92	3.2	23		II-3	R7
			3000 ~ 3100	100	2019/12	12.7	11.6	3.23	4.54	4.6	38		I -2	R7
			3100 ~ 3200	100	2019/12	8.6	10	5.73	7.86	5.1	38		I -2	R7
			3200 ~ 3300	100	2019/12	35.8	10.2	6.09	8.34	3.5	23		II-3	R7
			3300 ~ 3400	100	2019/12	39.3	12.7	3.84	5.35	3.2	23		II-3	R8
1-11	1級	134(往)	100 ~ 200	100	2019/12	36.7	11.3	4.38	6.07	3.4	33	3.5	II-2	
			200 ~ 300	100	2019/12	27.6	14.9	5.14	7.08	3.4	33		II-2	
			300 ~ 400	100	2019/12	22.8	11.7	4.42	6.12	4	38		II-2	
			400 ~ 500	100	2019/12	37.6	12.4	3.87	5.39	3.3	33		II-2	
1-12	1級	141	1000 ~ 1100	100	2019/12	49.7	7.8	8.34	11.33	2.8	40	2.4	III-2	R3
			1100 ~ 1200	100	2019/12	66.8	13.8	8.01	10.89	2.1	35		III-2	R5
			1200 ~ 1300	100	2019/12	64.4	11.2	4.43	6.13	2.2	35	3.4	III-2	
			1500 ~ 1600	100	2019/12	23.1	10.2	6.68	9.12	4	50		II-1	
1-13	1級	145	1600 ~ 1700	100	2019/12	52.1	10.6	10.82	14.63	2.7	40	3.1	III-2	
			200 ~ 300	100	2019/12	56.9	12.7	3.45	4.83	2.5	25		III-3	R3
			300 ~ 400	100	2019/12	54.3	11	5.54	7.61	2.6	30		III-3	R3
			400 ~ 500	100	2019/12	52.3	11.3	4.12	5.72	2.7	30		III-3	R3
			500 ~ 600	100	2019/12	45.4	11.4	4.42	6.12	3	30		III-3	R3
			600 ~ 700	100	2019/12	43	10.2	5.17	7.12	3.1	35		II-2	R3
			700 ~ 800	100	2019/12	38.8	10.9	3.96	5.51	3.3	35		II-2	R3
			800 ~ 900	100	2019/12	40.6	10.5	4.78	6.6	3.2	35		II-2	R3
			900 ~ 1000	100	2019/12	38.9	8.7	3.87	5.39	3.3	35	2.3	II-2	R3
			1000 ~ 1100	100	2019/12	29.9	8.6	4.03	5.6	3.8	40		II-2	R3
			1700 ~ 1800	100	2019/12	51.6	13	5.24	7.21	2.7	30		III-3	R3
			1800 ~ 1842	42	2019/12	50.8	24.9	5.69	7.81	1.8	20		III-3	R3
1-14	2級	151	600 ~ 700	100	2019/12	36.2	17.6	4.87	6.72	2.9	18	3.1	III-3	
			700 ~ 800	100	2019/12	39.1	11.9	4.77	6.58	3.3	23		II-3	
			1700 ~ 1800	100	2019/12	37.8	9.3	3.64	5.08	3.4	33	3	II-2	R8
			1800 ~ 1900	100	2019/12	49.6	14	2.36	3.38	2.8	28		III-3	R8
			1900 ~ 2000	100	2019/12	51.2	9.9	3.97	5.52	2.7	28		III-3	R8
			2000 ~ 2100	100	2019/12	50.4	12.9	4.32	5.99	2.8	28		III-3	R8
			2100 ~ 2152	52	2019/12	43.1	8.3	3.94	5.48	3.1	33		II-2	R8
2-1	2級	206(復)	0 ~ 100	100	2019/12	35.6	10.4	3.96	5.51	3.5	23	3.5	II-3	
			1300 ~ 1400	100	2019/12	32.6	9.9	2.78	3.94	3.7	28	4.1	II-3	R3
			1400 ~ 1500	100	2019/12	41.5	11.5	2.7	3.83	3.2	23		II-3	R3
			1500 ~ 1600	100	2019/12	32.3	12.2	2.93	4.14	3.5	23		II-3	R3
			1600 ~ 1639.5	39.5	2019/12	1.1	14.4	3.24	4.55	6	38		I -2	R3
2-2	2級	207(前)	300 ~ 400	100	2019/12	36.6	9.3	4.43	6.13	3.4	23	3.4	II-3	
2-3	2級	215	500 ~ 600	100	2019/12	31.5	34.2	6.98	9.52	1.7	18	3.1	III-3	R5
			600 ~ 700	100	2019/12	14.3	15.5	7.74	10.53	4	38		II-2	R6
			700 ~ 800	100	2019/12	19.5	18.2	4.56	6.3	3.5	33		II-2	R6
2-4	2級	218	200 ~ 279.5	79.5	2019/12	45	10.5	9.66	13.09	3	26	3	III-3	R5
2-5	2級	235	0 ~ 100	100	2019/12	41.3	13.4	7.49	10.2	3	23	3.3	III-3	
			100 ~ 200	100	2019/12	22.7	13.5	5.33	7.33	3.8	33		II-2	
			200 ~ 300	100	2019/12	36.8	13.9	5.91	8.1	3.1	28		II-3	
			300 ~ 400	100	2019/12	33.9	14.2	6.97	9.51	3.2	28		II-3	
2-6	2級	246-2	0 ~ 100	100	2019/12	40.3	9.4	5.14	7.08	3.2	45	3.4	II-1	
			100 ~ 200	100	2019/12	34.5	7.5	3.56	4.97	3.6	50		II-1	
2-7	2級	255	1600 ~ 1700	100	2019/12	37.9	10.7	3.41	4.78	3.4	35	3.4	II-2	
2-8	2級	260	0 ~ 100	100	2019/12	0	26.8	9.23	12.52	4.6	38	3.9	I -2	
			100 ~ 200	100	2019/12	3.7	33.8	8.42	11.44	3.7	28		II-3	
			200 ~ 300	100	2019/12	8.6	26.4	10.21	13.82	3.6	28		II-3	
			300 ~ 400	100	2019/12	5.9	39.9	12.16	16.41	2.9	18		III-3	
			400 ~ 500	100	2019/12	2.7	26.7	7.83	10.65	4.4	38		I -2	
			500 ~ 600	100	2019/12	4.6	34.8	12.09	16.32	3.4	23		II-3	
			600 ~ 649.5	49.5	2019/12	0.5	24.2	13	17.53	5	38		I -2	

修繕実施済みもしくは実施予定になっている区間